

# 世田谷プラットフォーム

# 単位互換共通シラバス 大学院考古学分野







# 大学院考古学分野 目次

# 国士舘大学

ページ	科目名称	年度	開講期	曜日	時限	単位数	教員氏名漢字	授業形態
1	考古学演習丨	2020	通年	水	4	4	眞保 昌弘	演習
3	考古学演習	2020	通年	月	6	4	眞保 昌弘	演習
5	考古学特論1	2020	通年	水	4	4	眞保 昌弘	講義
7	考古学調査法特論1	2020	通年	水	1	4	眞保 昌弘	講義
9	考古学調査法特論 2	2020	通年	火	6	4	眞保 昌弘	講義
11	考古学特論 2	2020	通年	月	5	4	関 義則	講義
13	考古学特論 4 2020 通知		通年	月	6	4	関 義則	講義
15	考古学特論3	2020	春期	金	3.4	4	井上 尚明	講義

# 駒澤大学

ページ	科目名称	年度	開講期	曜日	時限	単位数	教員氏名漢字	授業形態
17	考古学特講Ⅲ	2020	通年	月	3	4	角道 亮介	講義
20	考古学演習Ⅲ	2020	通年	月	4	4	角道 亮介	演習
23	考古学特講IV	2020	通年	水	4	4	土生田 純之	講義
27	考古学特講 V	2020	通年	水	3	4	高久 健二	講義
30	考古学特講VI	2020	通年	火	5	4	設楽 博己	講義
34	考古学特講VII	2020	通年	水	6	4	松木 武彦	講義

# 昭和女子大学

ページ	科目名称	年度	開講期	曜日	時限	単位数	教員氏名漢字	授業形態
37	考古学研究   D 古墳時代文化研究	2020	前期	火	4	2	小泉 玲子	講義
39	考古学研究   D 古墳時代文化研究	2020	後期	火	4	2	小泉 玲子	講義

#### **Syllabus**

クリックして表示・非表示切り替え

#### 概要

対象年度	年度	2020	期	(週137)通年	開講時限	水4			
開講学部・学科等	大学院	学院							
科目コード	071029700		科目ナンバー						
授業名	考古学演習 I								
英文授業名	Seminar on Archaeology	eminar on Archaeology I							
担当教員	眞保 昌弘								

授業形態	演習						
1又来///总	e-learning利用	その他:					
担当形態	単独						
関連する授業	当科目履修前に履修して おくことが望ましい科目						
	後続関連授業						
教職課程科目							
テーマ・キーワード	過去人類が残した遺跡や遺物を対象に	過去人類が残した遺跡や遺物を対象にして、往時の人間社会の仕組・思想・文化を探る。					

授業の概要・ねらい	考古学史にみる学問的発達を含め考古学資料の読み解き方など基本的な考え方を学ぶことにより、歴史学を構築するための歴史資料として取り扱えることができるようにする。
到達目標	考古学の対象である遺跡や遺物が歴史資料となるプロセスを理解してほしい。
教科書と準備するもの	適宜資料を配布する。
参考書	適宜、講義中に紹介する。
評価の基準	「発表」「受講態度」「質問等の積極性」「定期試験」を総合的に評価する。
具体的評価方法	「発表」「受講態度」「質問等の積極性」について講義ごとに評点化し、定期試験結果と合わせて評価。
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	発掘調査現地見学の機会を紹介しますので、そうした場への参加を通して考古学への理解を深めて欲しい。
単位互換	
特記	特になし。

#### 授業計画

		I			I-m.v
	内容	講義のねらい 計画の説明		内容	講義のねらい 計画の説明
		考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場			考古学についての広い見識を養うため、博物館
第1回	る学修(予習・復		第16回		資料館、発掘現場に行き、現物に
	習等)	ふれる機会を作る。		習等)	ふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	考古学の定義 浜田耕作の定義		内容	資料論(1)考古資料と文献資料
	授業時間外におけ	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場		授業時間外におけ	考古学についての広い見識を養うため、博物館
第2回	る学修(予習・復		第17回		資料館、発掘現場に行き、現物に
	習等)	ふれる機会を作る。		習等)	ふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	考古学の発達史(1)古代以前		内容	資料論(2)形態分類
	授業時間外におけ	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場		授業時間外におけ	考古学についての広い見識を養うため、博物館
第3回	る学修(予習・復		第18回	る学修(予習・復	資料館、発掘現場に行き、現物に
	習等)	ふれる機会を作る。		習等)	ふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	考古学の発達史(2)古代		内容	資料論(3)機能分類
	授業時間外におけ	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場		授業時間外におけ	考古学についての広い見識を養うため、博物館
第4回	る学修(予習・復		第19回		資料館、発掘現場に行き、現物に
	習等)	ふれる機会を作る。		習等)	ふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	考古学の発達史(3)中世		内容	型式論(1)型式学
	授業時間外におけ	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場		授業時間外におけ	考古学についての広い見識を養うため、博物館
第5回	る学修(予習・復		第20回	る学修(予習・復	資料館、発掘現場に行き、現物に
	習等)	ふれる機会を作る。		習等)	ふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	考古学の発達史(4)近世①水戸光圀 わが国初の発掘まで		内容	型式論(2)目的・用途・機能
	授業時間外におけ	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場		授業時間外におけ	考古学についての広い見識を養うため、博物館
第6回	る学修(予習・復	に行き、現物に	第21回	る学修(予習・復	資料館、発掘現場に行き、現物に
	習等)	ふれる機会を作る。		習等)	ふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	考古学の発達史(5)近世②水戸光圀 わが国初の発掘		内容	型式論(3)形式・型式・様式①概論
	授業時間外におけ	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場		授業時間外におけ	考古学についての広い見識を養うため、博物館
第7回	る学修(予習・復	に行き、現物に	第22回	る学修(予習・復	資料館、発掘現場に行き、現物に
	習等)	ふれる機会を作る。		習等)	ふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
				1	<u> </u>

1

第8回	内容	考古学の発達史(6)近世③蒲生君平	第23回	内容	型式論(4)形式・型式・様式②理論
		考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場			考古学についての広い見識を養うため、博物館
	る学修(予習・復			-	資料館、発掘現場に行き、現物に
	習等)	ふれる機会を作る。		習等)	ふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。			特になし。
	内容	考古学の発達史(7)近世④藤原貞幹		内容	型式論(5)形式・型式・様式③演習 石器
第9回	授業時間外における学修(予習・復	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場	第24回		考古学についての広い見識を養うため、博物館 資料館、発掘現場に行き、現物に
955년	習等)	ふれる機会を作る。	5524년	图等)	ふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	考古学の発達史(8)近世⑤青柳種信		内容	型式論(6)形式・型式・様式④演習 土器
		考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場			考古学についての広い見識を養うため、博物館
第10回	る学修(予習・復		第25回		資料館、発掘現場に行き、現物に
	習等)	ふれる機会を作る。		習等)	ふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	考古学の発達史(9)近代①時代背景		内容	型式論(7)形式・型式・様式⑤演習 瓦
	授業時間外におけ	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場		授業時間外におけ	考古学についての広い見識を養うため、博物館
第11回	る学修(予習・復		第26回		資料館、発掘現場に行き、現物に
	習等)	ふれる機会を作る。		習等)	ふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。			特になし。
	内容	考古学の発達史(10)近代②博物館の創設		内容	層位論(1)層位とは
第12回	授業時間外における学修(予習・復	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場	第27回		考古学についての広い見識を養うため、博物館 資料館、発掘現場に行き、現物に
第12四	る子修 (ア首・後 習等)	ふれる機会を作る。	第27凹	る子修 (ア首・接 習等)	ふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	考古学の発達史(11)近代③文化財保護法成立まで		内容	層位論(2)層位研究の実際
	授業時間外におけ	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場		授業時間外におけ	  考古学についての広い見識を養うため、博物館
第13回	る学修(予習・復	に行き、現物に	第28回	る学修(予習・復	資料館、発掘現場に行き、現物に
	習等)	ふれる機会を作る。		習等)	ふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	考古学の発達史(12)近代④文化財保護法成立以降		内容	層位論(3)層位学の研究史と今後
		考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場			考古学についての広い見識を養うため、博物館
第14回	る学修(予習・復		第29回		資料館、発掘現場に行き、現物に
	習等)	ふれる機会を作る。		習等)	ふれる機会を作る。
	+	特になし。			特になし。
	内容	総括		内容	総括
第15回	授業時間外における学修(予習・復	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場	第30回		考古学についての広い見識を養うため、博物館 資料館、発掘現場に行き、現物に
第13凹	る子修 (ア首・侵 習等)	に付き、現物に ふれる機会を作る。	第3U凹	る子修 (ア首・侵 習等)	真科館、先掘現場に付き、現物に ふれる機会を作る。
	- 137	特になし。			特になし。
	12/4/10 IV IV	1.5 0.00		12/2/10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	1.5.2 5.50

#### **Syllabus**

クリックして表示・非表示切り替え

#### 概要

対象年度	年度	2020	期	(週13マ)通年	開講時限	月6			
開講学部・学科等	大学院	学院							
科目コード	071029800		科目ナンバー						
授業名	考古学演習Ⅱ								
英文授業名	Seminar on Archaeology	I							
担当教員	眞保 昌弘								

授業形態	演習						
1又来///总	e-learning利用	その他:					
担当形態	単独						
関連する授業	当科目履修前に履修して おくことが望ましい科目						
	後続関連授業						
教職課程科目							
テーマ・キーワード	過去人類が残した遺跡や遺物を対象に	過去人類が残した遺跡や遺物を対象にして、往時の人間社会の仕組・思想・文化を探る。					

授業の概要・ねらい	考古学の中で最も基本的な方法論である分布、年代論を理解し、考古学資料を時間的空間的に位置付けることを学び、歴史学を構築するための歴史資料 として取り扱えることができるようにする。
到達目標	考古学の対象である遺跡や遺物が歴史資料となるプロセスを理解してほしい。
教科書と準備するもの	適宜資料を配布する。
参考書	「日本考古学」1~9巻 岩波書店
評価の基準	「発表」「受講態度」「質問等の積極性」「定期試験」を総合的に評価する。
具体的評価方法	評価の基準にある「発表」「受講態度」「質問等の積極性」の3項目を講義ごとに評点化し、定期試験結果とあわせ評価する。
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	発掘調査現地見学の機会を紹介しますので、そうした場への参加を通して考古学への理解を深めて欲しい。
単位互換	
特記	特になし。

	内容	講義のねらい 計画の説明		内容	講義のねらい 計画の説明
	授業時間外におけ	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場		授業時間外におけ	考古学についての広い見識を養うため、博物館
第1回	る学修(予習・復		第16回		資料館、発掘現場に行き、現物に
	習等)	ふれる機会を作る。		習等)	ふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	分布論(1)分布論とは		内容	年代論(1)概論
		考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場			考古学についての広い見識を養うため、博物館
第2回	る学修(予習・復		第17回		資料館、発掘現場に行き、現物に
	習等)	ふれる機会を作る。		習等)	ふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	分布論(2)文化圏		内容	年代論(2)時代
		考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場			考古学についての広い見識を養うため、博物館
第3回	る学修(予習・復		第18回		資料館、発掘現場に行き、現物に
	習等)	ふれる機会を作る。		習等)	ふれる機会を作る。
		特になし。			特になし。
	内容	分布論(3)分布圏		内容	年代論(3)年代
		考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場			考古学についての広い見識を養うため、博物館
第4回	る学修(予習・復		第19回		資料館、発掘現場に行き、現物に
		ふれる機会を作る。		習等)	ふれる機会を作る。
		特になし。			特になし。
	内容	分布論(4)中心と周辺		内容	年代論(4)年代確定論①遺跡
***	-	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場	***		考古学についての広い見識を養うため、博物館
第5回	る学修(予習・復 習等)	に行き、現物に ふれる機会を作る。	第20回	る字修(予習・復 習等)	資料館、発掘現場に行き、現物に ふれる機会を作る。
		特になし。			特になし。
	内容	分布論(5)生活圏、分布と自然環境		内容	年代論(5)年代確定論②遺物
**CE		考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場	签21回		考古学についての広い見識を養うため、博物館
第6回	る学修(予習・復 習等)	に行き、現物に ふれる機会を作る。	第21回	る字修 (予留・復 習等)	資料館、発掘現場に行き、現物に ふれる機会を作る。
	- 137	特になし。			特になし。
	内容	分布論(6)分布の実際的演習		内容	年代論(6)絶対年代①文字資料
95.7E		考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場	***22EI		考古学についての広い見識を養うため、博物館 資料館、発掘現場に行き、現物に
第7回	る学修(予習・復 習等)	に付き、現物に ふれる機会を作る。	第22回	る子修 (予留・侵 習等)	資料館、発掘現場に行き、現物に ふれる機会を作る。
		特になし。			特になし。
-	1282/10111111	1310.000		12×2/161910	19.0.00

第8回	内容	分布論(7)資源と生産地	第23回	内容	年代論(7)絶対年代②暦
	授業時間外におけ	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場		授業時間外におけ	考古学についての広い見識を養うため、博物館
	る学修(予習・復			-	資料館、発掘現場に行き、現物に
	習等)	ふれる機会を作る。		習等)	ふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	分布論(8)通婚圏と情報圏		内容	年代論(8)絶対年代③年輪年代
		考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場			考古学についての広い見識を養うため、博物館
第9回	る学修(予習・復 習等)	に行き、規物に ふれる機会を作る。	第24回	る字修 (予習・復 習等)	資料館、発掘現場に行き、現物に ふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。			特になし。
		分布論(9)民俗と種族			
	内容			内容	年代論(9)絶対年代④化学分析
第10回	授業時間外における学修(予習・復	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場	第25回		考古学についての広い見識を養うため、博物館 資料館、発掘現場に行き、現物に
25 TOE	習等)	ふれる機会を作る。	55ZJ트	图条)	ふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	分布論(10)支配領域と統治		内容	年代論(10)相対年代①層位
	授業時間外におけ	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場		授業時間外におけ	考古学についての広い見識を養うため、博物館
第11回	る学修(予習・復	に行き、現物に	第26回	る学修(予習・復	資料館、発掘現場に行き、現物に
	習等)	ふれる機会を作る。		習等)	ふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	分布論(11)道と交易		内容	年代論(11)相対年代②土器型式
		考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場			考古学についての広い見識を養うため、博物館
第12回	る学修(予習・復		第27回		資料館、発掘現場に行き、現物に
	習等)	ふれる機会を作る。		習等)	ふれる機会を作る。
	_	特になし。			特になし。
	内容	分布論(12)意味のある分布、意味のない分布		内容	年代論(12)相対年代③瓦
第13回	授業時間外におけ る学修(予習・復	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場	第28回		考古学についての広い見識を養うため、博物館 資料館、発掘現場に行き、現物に
2512년	習等)	ふれる機会を作る。	*** 20년	图等)	ふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	分布論(13)確かな分布、不確かな分布		内容	年代論(13)相対年代④実際的演習
	授業時間外におけ	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場		授業時間外におけ	考古学についての広い見識を養うため、博物館
第14回	る学修(予習・復		第29回		資料館、発掘現場に行き、現物に
	習等)	ふれる機会を作る。		習等)	ふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	総括		内容	総括
m		考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場	Mr. =		考古学についての広い見識を養うため、博物館
第15回	る学修(予習・復 習等)	に行き、現物に ふれる機会を作る。	第30回	る学修(予習・復 習等)	資料館、発掘現場に行き、現物に ふれる機会を作る。
		特になし。			かれる機会でTFの。 特になし。
	授業実施特記	付になし。		授業実施特記	付になし。

#### **Syllabus**

クリックして表示・非表示切り替え

#### 概要

対象年度	年度	2020	期	(週137)通年	開講時限	月4		
開講学部・学科等	大学院							
科目コード	071003600		科目ナンバー					
授業名	考古学特論 1							
英文授業名	Special Studies in Archaeology 1							
担当教員	眞保 昌弘							

授業形態	講義					
1又来///恋	e-learning利用		その他:			
担当形態	単独					
関連する授業	当科目履修前に履修して おくことが望ましい科目					
	後続関連授業					
教職課程科目						
テーマ・キーワード	古代国家形成期の東国					

授業の概要・ねらい	古代東国を対象とした考古学的資料を研究することによって中央集権的国家形成期にみる地方支配の成立過程を在地社会の動向から読み取ることができるようにする。
到達目標	「考古学とは何か」。広大な歴史の解明には、考古学的手法なしでは、成し得ないことについて基礎的理解を深める。
教科書と準備するもの	<b>眞保昌弘『古代国家形成期の東国』同成社 9720円</b>
参考書	必要に応じて授業中に指示、配布する。
評価の基準	「受講態度」「質問等の積極性」「レポート、口頭発表」などを評価する。
具体的評価方法	毎回の講義ごとに、「評価の基準」3項目を評点化する。
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	各種講演会、研究会への参加機会を紹介しますので、そうした場への参加を通して講義内容の理解を深めて欲しい。
単位互換	
特記	特になし。

	内容	講義のねらい、計画の説明		内容	東国における渡来人配置(1)対外関係
第1回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	わが国における律令国家の特性を学修	第16回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	対外関係と中央集権的国家形成期の日本		内容	東国における渡来人配置(2)考古学的資料
第2回	授業時間外におけ る学修 (予習・復 習等)	わが国における律令国家の特性を学修	第17回	授業時間外におけ る学修 (予習・復 習等)	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	中央集権的国家の展開(1)制度		内容	中央集権的国家の展開(1)陸奥国
第3回	授業時間外における学修(予習・復 習等)	わが国における律令国家の特性を学修	第18回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	中央集権的国家の展開(2)宮都	第19回	内容	中央集権的国家の展開 (2) 肥後国
第4回	授業時間外におけ る学修 (予習・復 習等)	わが国における律令国家の特性を学修		授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	中央集権的国家の展開(3) 五畿七道	第20回	内容	坂東出現と陸奥国接圏地域
第5回	授業時間外におけ る学修 (予習・復 習等)	わが国における律令国家の特性を学修		授業時間外における学修(予習・復 習等)	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	中央集権的国家形成期の東国		内容	接圏地域の様相(東山道)
第6回	授業時間外におけ る学修 (予習・復 習等)	わが国における律令国家の特性を学修	第21回	授業時間外における学修(予習・復 習等)	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	寺院官衙の成立と前代からの在地社会(1)上野国		内容	接圏地域の様相(東海道)
第7回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	わが国における律令国家の特性を学修	第22回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第8回	内容	寺院官衙の成立と前代からの在地社会(2)下野国	第23回	内容	接圏地域の様相(北陸道)

•		i .	•		
	授業時間外におけ			授業時間外におけ	
		わが国における律令国家の特性を学修			わが国における律令国家の特性を学修
	習等)			習等)	
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	寺院官衙の成立と前代からの在地社会(3)陸奥国		内容	寺院官衙と瓦からみた畿内と坂東
	授業時間外におけ			授業時間外におけ	
第9回		わが国における律令国家の特性を学修	第24回		わが国における律令国家の特性を学修
	習等)			習等)	
	_	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	寺院官衙の成立と前代からの在地社会(4)相模、武蔵国		内容	寺院官衙と瓦からみた坂東と陸奥(1)上野国
	授業時間外におけ			授業時間外におけ	
第10回		わが国における律令国家の特性を学修	第25回		わが国における律令国家の特性を学修
	習等)	1# - 1 > 1		習等)	data con 1 x 1
	_	特になし。			特になし。
	内容	寺院官衙の成立と前代からの在地社会(5)上総、下総、常陸国		内容	寺院官衙と瓦からみた坂東と陸奥(2)下野国
77.4.4	授業時間外におけ		W-0.5	授業時間外におけ	
第11回	る字修 (予省・復 習等)	わが国における律令国家の特性を学修	第26回	る字修 (予省・復 習等)	わが国における律令国家の特性を学修
		特になし。			特になし。
	内容				
	授業時間外におけ	東国における寺院官衙の成立と前代からの在地社会の動向を総括	第27回	内容	寺院官衙と瓦からみた坂東と陸奥(3)常陸国
第12回		わが国における律令国家の特性を学修			わが国における律令国家の特性を学修
NJ12LL	習等)	1900日にのからは1日本の20年で子珍		習等)	100 Elective of helicondeed by
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	古代石碑からみる中央集権的国家形成期の在地社会(1)上野国		内容	寺院官衙と瓦からみた西海道
	授業時間外におけ			授業時間外におけ	
第13回	る学修(予習・復	わが国における律令国家の特性を学修	第28回	る学修(予習・復 習等) わが国における律令国	わが国における律令国家の特性を学修
	習等)				
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	古代石碑からみる中央集権的国家形成期の在地社会(2)下野国		内容	東国と畿内
	授業時間外におけ			授業時間外におけ	
第14回		わが国における律令国家の特性を学修	第29回		わが国における律令国家の特性を学修
	習等)			習等)	
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	古代石碑からみる東国における中央集権的国家形成期の在地社会 を総括		内容	古代国家形成期の東国総括
第15回	授業時間外における学体(予翌・復	わが国における律令国家の特性を学修	第30回	授業時間外における学修(子習・復	わが国における律令国家の特性を学修
	習等)	17/17 国に0.717 公井市国家の方ではでナル		習等)	17万国にのりる年节国家の付けで子修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	_1	ı		1	

#### **Syllabus**

クリックして表示・非表示切り替え

#### 概要

対象年度	年度	2020	期	(週1コマ)通年	開講時限	水1		
開講学部・学科等	大学院	学院						
科目コード	071028500		科目ナンバー					
授業名	考古学調査法特論 1	考古学調査法特論1						
英文授業名	Special Studies on Archa	Special Studies on Archaeological Survey and Analysis 1						
担当教員	眞保 昌弘							

授業形態	講義					
1又来///总	e-learning利用		その他:			
担当形態	単独					
関連する授業	当科目履修前に履修して おくことが望ましい科目					
	後続関連授業					
教職課程科目						
テーマ・キーワード	考古学の実践的経験を積むための講義	含古学の実践的経験を積むための講義を行う。				

授業の概要・ねらい	現地における発掘調査と出土遺物の取り扱いなど、実践的研究を進めることによって、歴史を考察するための基礎的技術を身につけることができるよう にする。
到達目標	発掘調査の準備、実施、遺物の処理について理解する。
教科書と準備するもの	特になし。
参考書	文化庁文化財部記念物課2010「発掘調査のてびき – 集落遺跡発掘編 – 」、同2013「発掘調査のてびき-各種遺跡調査編-」
評価の基準	レポート、発表、受講態度など熱意を重視する。
具体的評価方法	評価基準の3項目を講義ごとに評点化する。
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	各種講演会、研究会への参加機会を紹介しますので、そうした場への参加を通して講義内容の理解を深めて欲しい。
単位互換	
特記	特になし。

	内容	埋蔵文化財の保護と発掘調査(1)文化財の保護。		内容	発掘調査の実施(8)遺物の取り上げ方法と写 真撮影
第1回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス クラップする。	第16回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財に ついての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	埋蔵文化財の保護と発掘調査(2)文化財保護法の解説。		内容	発掘調査の実施 (9) 地形測量での測量器具の 使い方
第2回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス クラップする。	第17回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	発掘調査の準備(1)調査計画		内容	発掘調査の実施(10) 墳丘測量での測量器具 の使い方
第3回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス クラップする。	第18回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	発掘調査の準備(2)調査の目的		内容	発掘調査の実施(11)窯跡調査での測量器具 の使い方
第4回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス クラップする。	第19回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	発掘調査の準備(3)調査器具と機材の準備		内容	発掘調査の実施(12)集落跡調査での測量器具の 使い方
第5回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス クラップする。	第20回	授業時間外における学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	発掘調査の準備(4)記録類の準備		内容	発掘調査の整理(1)遺物台帳の作成
第6回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス クラップする。	第21回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第7回	内容	発掘調査の方法(1)部分発掘と全面調査の方法	第22回	内容	発掘調査の整理(2)図面台帳の作成
I					

	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス クラップする。			新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財に ついての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	発掘調査の方法(2)遺跡の地区決定の方法		内容	発掘調査の整理(3)写真台帳の作成
第8回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス クラップする。	第23回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財に ついての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	発掘調査の実施(1)縄文遺跡での層位の見分け方		内容	発掘調査による遺物の処理 (1) 出土遺物の洗 浄方法
第9回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス クラップする。	第24回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財に ついての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	発掘調査の実施(2)貝塚での層位の見分け方		内容	発掘調査による遺物の処理(2)出土遺物の注 記の方法
第10回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス クラップする。	第25回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財に ついての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	発掘調査の実施(3)古墳調査での層位の見分け方	第26回	内容	発掘調査による遺物の処理(3)遺物の接合方法
第11回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス クラップする。		授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	発掘調査の実施(4)窯跡調査での層位の見分け方		内容	発掘調査による遺物の処理(4)遺物の補修
第12回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス クラップする。	第27回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財に ついての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	発掘調査の実施(5)土器の取り上げ方法と写真撮影		内容	発掘調査による遺物の処理 (5) 重要遺物の取扱い方
第13回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス クラップする。	第28回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財に ついての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	発掘調査の実施(6)鉄器の取り上げ方法と写真撮影		内容	発掘調査による遺物の処理(6)実測用具の準備
第14回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞  テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス	第29回	授業時間外における学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財に ついての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	発掘調査の実施(7)青銅器の取り上げ方法と写真撮影		内容	発掘調査による遺物の処理(7)遺物実測の方法
第15回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス クラップする。	第30回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財に ついての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。

#### **Syllabus**

クリックして表示・非表示切り替え

#### 概要

対象年度	年度	2020	期	(週137)通年	開講時限	火6		
開講学部・学科等	大学院	学院						
科目コード	071028600		科目ナンバー					
授業名	考古学調査法特論 2	考古学調査法特論 2						
英文授業名	Special Studies on Archaeological Survey and Analysis 2							
担当教員	眞保 昌弘							

授業形態	講義					
1又来///总	e-learning利用		その他:			
担当形態	単独					
関連する授業	当科目履修前に履修して おくことが望ましい科目					
	後続関連授業					
教職課程科目						
テーマ・キーワード	考古学の実践的経験を積むための講義	を行う。				

授業の概要・ねらい	現地における発掘調査によって出土する遺物の処理や調査結果の整理、報告書の作成まで具体的な事例をもとに一貫した実践的研究を進めることによって、歴史を考察するための基礎的技術を身に付けることができるようにする。
到達目標	発掘調査成果のまとめ方について理解する。
教科書と準備するもの	特になし。
参考書	文化庁文化財部記念物課2010「発掘調査のてびき-整理・報告書編-」
評価の基準	レポート、発表、受講態度など熱意を重視する。
具体的評価方法	評価の基準3項目を講義ごとに評点化する。
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	各種講演会、研究会への参加機会を紹介しますので、そうした場への参加を通して講義内容の理解を深めて欲しい。
単位互換	
特記	特になし。

	内容	出土遺物の処理(1)拓本の方法		内容	出土遺物の保管 (4) 壊れやすいものの保管方法 小型品
第1回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス クラップする。	第16回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財に ついての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	出土遺物の処理 (2) 拓本の処理		内容	出土遺物の保管(5)腐食しにくいものの保管 方法 大型品
第2回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス クラップする。	第17回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財に ついての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	出土遺物の処理(3)記録類の整理保管・図面		内容	出土遺物の保管(6)腐食しにくいものの保管 方法 小型品
第3回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス クラップする。	第18回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財に ついての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	出土遺物の処理(4)記録類の整理保管・写真		内容	出土遺物の保管(7)腐食しやすいものの保管 方法 大型品
第4回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス クラップする。	第19回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財に ついての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	記録類の処理(1)日誌の整理		内容	出土遺物の保管 (8) 腐食しやすいものの保管 方法 小型品
第5回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス クラップする。	第20回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	記録類の処理(2)実測図の基本		内容	報告書の作成(1)報告書のいろいろ
第6回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス クラップする。	第21回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第7回	内容	記録類の処理(3)実測図の作成・石器	第22回	内容	報告書の作成(2)サイズと版面

	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス クラップする。			新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財に ついての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	記録類の処理(4)実測図の作成・縄文土器		内容	報告書の作成(3)縮尺と縮図
第8回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス クラップする。	第23回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財に ついての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	記録類の処理(5)実測図の作成・土師器		内容	報告書の作成(4)遺跡のトレース
第9回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス クラップする。	第24回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財に ついての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	記録類の処理(6)実測図の作成・須恵器		内容	報告書の作成(5)遺物のトレース
第10回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス クラップする。	第25回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財に ついての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	記録類の処理(7)実測図の作成・木器		内容	報告書の作成(6)本文印刷
第11回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス クラップする。	第26回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財に ついての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	記録類の処理(8)実測図の作成・鉄器		内容	報告書の作成(7)本文レイアウト
第12回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス クラップする。	第27回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財に ついての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	出土遺物の保管(1)壊れにくいものの保管方法 大型品		内容	報告書の作成(8)図版レイアウト
第13回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス クラップする。	第28回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財に ついての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	出土遺物の保管(2)壊れにくいものの保管方法 小型品		内容	報告書の作成 (9) 目次の作成
第14回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス クラップする。	第29回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財に ついての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	出土遺物の保管(3)壊れやすいものの保管方法 大型品		内容	報告書の作成(10)装丁
第15回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をス クラップする。	第30回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財に ついての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。

#### 概要

対象年度	年度	2020	期	(週137)通年	開講時限	月5		
開講学部・学科等	大学院	大学院						
科目コード	071003700		科目ナンバー					
授業名	考古学特論 2							
英文授業名	Special Studies in Archaeology 2							
担当教員	関 義則							

授業形態	講義					
1又来///恋	e-learning利用		その他:			
担当形態	単独					
関連する授業	当科目履修前に履修して おくことが望ましい科目					
	後続関連授業					
教職課程科目						
テーマ・キーワード	古墳・古墳時代・古墳の構造・古墳祭	祀・副葬品	・刀剣・馬具			

授業の概要・ねらい	古墳時代を象徴する古墳そのものの分析をとおして、古墳時代の社会にアプローチする。導入で古墳に対する基礎的な知識を整理する。次に被葬者や設計・祭祀あるいは年代など古墳や古墳群研究にかかる諸問題に触れる。後段では、副葬品とりわけ武器・武具・馬具に焦点を当て、分析の手順や手法に留意しながら、分析結果がどのような歴史解釈に結び付けられているのかを整理しつつ、今日の到達点と課題を解説する。
到達目標	古墳及び古墳出土の副葬品の研究成果を踏まえつつ今日の到達点と課題を理解する。
教科書と準備するもの	テーマごとにレジュメ・資料を配布する。
参考書	レジュメに記載。
評価の基準	古墳の概要及び副葬品(武器・武具・馬具)について基本的な知識を獲得している。
具体的評価方法	春季・秋季2回のレポートで評価する。
実務経験教員による授業科目	【実務経験】考古学を専門とする博物館学芸員の実務経験のある教員が考古学の講義を行う。
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	本講では古墳及び古墳副葬品の研究、とりわけ型式学的な研究法に焦点をあて、分析手法の原理・原則を中心に解説する予定で、他の時代・遺物にも十分に応用可能なはずである。質問は随時受け付けるので、疑問点は残さず学修してほしい。
単位互換	
特記	

内容	ガイダンス 年間の事業計画を説明する。		内容	古墳設計の諸問題 2 古墳設計と基準尺の検討について講義する。
授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習) シラバスに目をとおしておく。 (復習) 特になし。	第16回		(予習) 古代の尺にはどのようなものがあった のかを確認しておく。 (復習) 配布資料の内容を整理しておく。
授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
内容	古墳の基礎知識 1 古墳時代の研究の流れを回顧する。		内容	古墳副葬品の諸問題 1 型式学的研究法について講義する。
授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習) いくつかの概説書に目をとおしておく。 (復習) 配布資料の内容を整理しておく。	第17回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習) 型式学とは何かを調べておく。 (復習) 配布資料の内容を整理しておく。
授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
内容	古墳の基礎知識 2 古墳の構造・外表施設、副葬品について講義する。		内容	古墳副葬品の諸問題 2 副葬品による年代決定論について講義する。
授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習) いくつかの概説書に目をとおしておく。 (復習) 配布資料の内容を整理しておく。	第18回		(予習) 古墳の副葬品にはどのような品目があるのか確認しておく。 (復習) 配布資料の内容を整理しておく。
授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
内容	古墳の基礎知識3 古墳の実年代論について講義する。		内容	古墳副葬品の諸問題3 刀剣と佩用方法の変遷について講義する。
授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習) いくつかの概説書に目をとおしておく。 (復習) 配布資料の内容を整理しておく。	第19回		(予習) 刀剣の佩用方法にはどのようなものが あるか確認しておく。 (復習) 配布資料の内容を整理しておく。
授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
内容	古墳の基礎知識 4 古墳の被葬者論について講義する。		内容	古墳副葬品の諸問題4 刀剣の分類と編年について講義する。
授業時間外におけ る学修 (予習・復 習等)	(予習) いくつかの概説書に目をとおしておく。 (復習) 配布資料の内容を整理しておく。	第20回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習) 刀剣にはどのような種類があるのかを 確認しておく。 (復習) 配布資料の内容を整理しておく。
授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
内容	古墳・古墳群の諸問題 1 前方後円墳の成立と前期古墳論について講義する。	第21回	内容	古墳副葬品の諸問題 5 装飾付大刀の解釈論について講義する。
授業時間外におけ る学修 (予習・復 習等)	(予習) 前方後円墳とは何か及び前期古墳の特徴を調べておく。 (復習) 配布資料の内容を整理しておく。		授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習) 装飾付大刀の種類について整理してお く。 (復習) 配布資料の内容を整理しておく。
	授業時間外における学修 (予習・復習等) 一授業実施特記 内容 (受業) 一投業 (大容) 一大容	伊業時間外における学修 (予習・復 選等)		母語 中間の事業計画を説明する。

	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	古墳・古墳群の諸問題 2 前方後円墳の展開と中期古墳論について講義する。		内容	古墳副葬品の諸問題 6 刀剣と象嵌銘文について講義する。
第7回	授業時間外におけ る学修 (予習・復 習等)	(予習) 中期古墳の特徴を調べておく。 (復習) 配布資料の内容を整理しておく。	第22回	授業時間外におけ る学修 (予習・復 習等)	(予習) 我が国の古墳時代に有銘刀剣がどれくらい確認されているかを調べておく。 (復習)配布資料の内容を整理しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	古墳・古墳群の諸問題 3 前方後円墳の配置論について講義する。		内容	古墳副葬品の諸問題 7 馬具の起源と展開について講義する。
第8回	授業時間外におけ る学修 (予習・復 習等)	(予習) 前方後円墳の配置に規則性の有無を調べておく。 (復習) 配布資料の内容を整理しておく。	第23回		(予習) 馬具のパーツにはどのような種類があるのかを確認しておく。 (復習) 配布資料の内容を整理しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	古墳・古墳群の諸問題 4 東国の後期前方後円墳論について講義する。		内容	古墳副葬品の諸問題 8 倭国における馬具の出現とその源流について講 義する。
第9回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習)後期古墳の特徴を調べておく。 (復習)配布資料の内容を整理しておく。	第24回		(予習) 古墳時代の馬具にはどのような種類が あるのかを確認しておく。 (復習) 配布資料の内容を整理しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	古墳・古墳群の諸問題 5 前方後円墳の終末年代論について講義する。		内容	古墳副葬品の諸問題 9 馬具の種類と変遷について講義する。
第10回	授業時間外におけ る学修 (予習・復 習等)	1	第25回	授業時間外におけ る学修 (予習・復 習等)	(予習) 特になし。 (復習) 配布資料の内容を整理しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	古墳・古墳群の諸問題 6 終末期古墳の諸問題について講義する。		内容	古墳副葬品の諸問題10 鋳造馬具・鈴付馬具の諸問題について講義す る。
第11回	授業時間外におけ る学修 (予習・復 習等)	(予習) 代表的な終末期古墳を調べておく。 (復習) 配布資料の内容を整理しておく。	第26回	授業時間外における学修 (予習・復 習等)	(予習) 鋳造製品の特性について調べておく。 (復習) 配布資料の内容を整理しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	古墳祭祀の諸問題 1 造り出しと古墳祭祀について講義する。		内容	古墳副葬品の諸問題11 馬具の組成と階層性について講義する。
第12回	授業時間外におけ る学修 (予習・復 習等)	(予習) 造り出しとは何かを確認しておく。 (復習) 配布資料の内容を整理しておく。	第27回	授業時間外におけ る学修 (予習・復 習等)	(予習) 特になし。 (復習) 配布資料の内容を整理しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	古墳祭祀の諸問題 2 形象埴輪の意義について講義する。		内容	古墳副葬品の諸問題 1 2 馬具と戦術について講義する。
第13回	授業時間外におけ る学修 (予習・復 習等)	(予習) 形象埴輪にはどのような種類があるのかを確認しておく。 (復習) 配布資料の内容を整理しておく。	第28回	授業時間外におけ る学修 (予習・復 習等)	
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	古墳祭祀の諸問題 3 形象埴輪の配列について講義する。		内容	古墳副葬品の諸問題13 副葬品としての火打金について講義する。
第14回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習)良好な形象埴輪群の配列が確認された古墳を調べておく。 (復習)配布資料の内容を整理しておくとともに、これまでの講義を振り返り、レポートの課題に向けて自ら学修する。	第29回	授業時間外におけ る学修 (予習・復 習等)	
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	古墳設計の諸問題 1 古墳の設計原理研究の流れについて講義する。		内容	まとめ これまでの古墳研究にかかる講義内容を総括す るとともに、古墳研究の展望を示す。
第15回	授業時間外におけ る学修 (予習・復 習等)	(予習) 古墳の設計にかかる論考をいくつか読んでおく。 (復習) 配布資料の内容を整理しておく。	第30回	授業時間外におけ る学修 (予習・復 習等)	(予習) これまで配布したブリントとそれを自分なりに整理したメモに目をとおしておく。 (復習) これまでの講義を振り返り、レポートの課題に向けて自ら学修する。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。

#### 概要

対象年度	年度	2020	期	(週137)通年	開講時限	月6	
開講学部・学科等	大学院	大学院					
科目コード	071028300		科目ナンバー				
授業名	考古学特論 4	考古学特論4					
英文授業名	Special Studies in Archaeology 4						
担当教員	関 義則						

授業形態	講義					
1又来///恋	e-learning利用		その他:			
担当形態	単独					
関連する授業	当科目履修前に履修して おくことが望ましい科目					
	後続関連授業					
教職課程科目						
テーマ・キーワード	文化財・文化財保護・文化財活用・埋	蔵文化財				

授業の概要・ねらい	本科目では、文化財保護制度の概要とその実際的な運用について、文化財保護法及び関連法令そして法令を運用するための各種通達を、現場における運用実態や判例や行政実例をもとに解説し、当該制度に関する基礎知識を習得させるとともに、今日的諸問題について理解を深める。
到達目標	文化財保護行政の制度と運用について正しく理解する。
教科書と準備するもの	教科書はなし。授業の進行にあわせて適宜プリントを配布する。
参考書	和田勝彦「遺跡保護の制度と行政」同成社 根木昭・和田勝彦編「文化財政策概論」東海大学出版会
評価の基準	文化財保護行政の制度について基礎的な事項を理解できている。
具体的評価方法	授業での発言・発表 (50%) 及びレポート (50%) で評価する。
実務経験教員による授業科目	【実務経験】自治体で文化財保護行政に携わった経験を有する教員が、文化財保護行政制度と実際の運用について解説する。
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	保護法及び関連法令の範囲は広く多岐に渡りますが、単なる法令解釈にとどまらず、運用や実務の視点から分かりやすく解説するように努めます。また、質問は随時受け付けますので、疑問点があれば、その場で質問してください。
単位互換	
特記	

	内容	ガイダンス 文化財の定義と保護の目的		内容	文化財保護の諸制度(4) 行財政制度
第1回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習) シラバスに目をとおしておくこと。	第16回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習) 参考書で掲げた文献の関係個所を通読 しておき、疑問点があればメモしておくこと。
	授業実施特記			授業実施特記	
	内容	文化財保護の沿革(1) 文化財保護法制定以前の法制度		内容	文化財保護の施策(1) 活用に関する諸制度
第2回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習) 参考書で掲げた文献の関係個所を通読しておき、疑問点 があればメモしておくこと。	第17回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習)参考書で掲げた文献の関係個所を通読 しておき、疑問点があればメモしておくこと。
	授業実施特記			授業実施特記	
	内容	文化財保護の沿革(2) 文化財保護法の制定		内容	文化財保護の施策(2) 修理・復原・整備
第3回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習)参考書で掲げた文献の関係個所を通読しておき、疑問点があればメモしておくこと。	第18回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習) 参考書で掲げた文献の関係個所を通読 しておき、疑問点があればメモしておくこと。
	授業実施特記			授業実施特記	
	内容	文化財保護制度の沿革 (3) 文化財保護制度の充実と発展		内容	文化財保護の施策(3) 世界遺産
第4回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習) 参考書で掲げた文献の関係個所を通読しておき、疑問点があればメモしておくこと。	第19回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習)参考書で掲げた文献の関係個所を通読 しておき、疑問点があればメモしておくこと。
	授業実施特記			授業実施特記	
	内容	文化財保護法詳解(1) 法の趣旨と枠組み		内容	文化財保護の施策(4) 日本遺産
第5回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習) 参考書で掲げた文献の関係個所を通読しておき、疑問点があればメモしておくこと。	第20回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習)参考書で掲げた文献の関係個所を通読 しておき、疑問点があればメモしておくこと。
	授業実施特記			授業実施特記	
	内容	文化財保護法詳解(2) 文化財保護の仕組み		内容	埋蔵文化財行政の仕組み(1) 把握・周知・調整
第6回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習)参考書で掲げた文献の関係個所を通読しておき、疑問点があればメモしておくこと。	第21回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習)参考書で掲げた文献の関係個所を通読 しておき、疑問点があればメモしておくこと。
	授業実施特記			授業実施特記	
	1				

第7回	内容	文化財保護法詳解(3) 有形文化財	第22回	内容	埋蔵文化財行政の仕組み(2) 調査
	授業時間外における学修(予習・復 習等)	(予習) 参考書で掲げた文献の関係個所を通読しておき、疑問点 があればメモしておくこと。		授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習)参考書で掲げた文献の関係個所を通読 しておき、疑問点があればメモしておくこと。
	授業実施特記			授業実施特記	
	内容	文化財保護法詳解(4) 建造物		内容	埋蔵文化財行政の仕組み (3) 出土品の取り扱い
第8回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習) 参考書で掲げた文献の関係個所を通読しておき、疑問点 があればメモしておくこと。	第23回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習)参考書で掲げた文献の関係個所を通読 しておき、疑問点があればメモしておくこと。
	授業実施特記			授業実施特記	
	内容	文化財保護法詳解(5) 記念物		内容	埋蔵文化財行政の諸問題(1) 発掘調査費用の負担問題
第9回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習) 参考書で掲げた文献の関係個所を通読しておき、疑問点 があればメモしておくこと。	第24回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習) 参考書で掲げた文献の関係個所を通読 しておき、疑問点があればメモしておくこと。
	授業実施特記			授業実施特記	
	内容	文化財保護法詳解(6) 民俗文化財・有形文化財		内容	埋蔵文化財行政の諸問題(2) 発掘担当者の資格問題
第10回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習)参考書で掲げた文献の関係個所を通読しておき、疑問点 があればメモしておくこと。	第25回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習)参考書で掲げた文献の関係個所を通読 しておき、疑問点があればメモしておくこと。
	授業実施特記			授業実施特記	
	内容	文化財保護法詳解(7) 文化的景観		内容	埋蔵文化財行政の諸問題(3) 取り扱い基準と民間調査機関
第11回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習) 参考書で掲げた文献の関係個所を通読しておき、疑問点 があればメモしておくこと。	第26回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習)参考書で掲げた文献の関係個所を通読 しておき、疑問点があればメモしておくこと。
	授業実施特記			授業実施特記	
	内容	文化財保護法詳解(8) 埋蔵文化財		内容	埋蔵文化財行政の諸問題 (4) 調査時の事件・事故と安全対策
第12回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習) 参考書で掲げた文献の関係個所を通読しておき、疑問点 があればメモしておくこと。	第27回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習) 土木工事における各種法令や基準を整理しておくこと。
	授業実施特記			授業実施特記	
	内容	文化財保護の諸制度(1) 現状変更許可制度		内容	埋蔵文化財保護行政の課題
第13回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習) 参考書で掲げた文献の関係個所を通読しておき、疑問点 があればメモしておくこと。	第28回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習) 21回〜27回の講義内容を整理して おくこと。
	授業実施特記			授業実施特記	
	内容	文化財保護の諸制度(2) 登録文化財制度		内容	埋蔵文化財保護行政の展望
第14回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習) 参考書で掲げた文献の関係個所を通読しておき、疑問点 があればメモしておくこと。	第29回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習)21回〜27回の講義内容を整理して おくこと。
	授業実施特記			授業実施特記	
	内容	文化財保護の諸制度(3) 関連諸法令		内容	文化財保護行政制度のまとめ
第15回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習) 参考書で掲げた文献の関係個所を通読しておき、疑問点 があればメモしておくこと。	第30回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	(予習) これまでの講義内容を整理しておくこと。
	授業実施特記			授業実施特記	

#### 考古学特論3

クリックして表示・非表示切り替え

#### 概要

対象年度	年度	2020	期	(週23マ)春期	開講時限	金3,金4		
開講学部・学科等	大学院							
科目コード	071028200		科目ナンバー					
授業名	考古学特論 3	計学特論 3						
英文授業名	Special Studies in Archaeology 3							
担当教員	井上 尚明							

授業形態	講義					
1又来/// 松	e-learning利用		その他:			
担当形態	単独					
関連する授業	当科目履修前に履修して おくことが望ましい科目					
	後続関連授業					
教職課程科目						
テーマ・キーワード	飛鳥の遺跡群 中央官衙と地方官衙	古代景観				

授業の概要・ねらい	律令国家の形成過程とその変遷を、遺跡の動態や遺構・遺物から紹介し、最新の調査・研究成果を取り入れながら講義する。また、遺跡や遺物に残る痕跡や文献資料から、古代の環境変化と災害を解説し、考古学から環境史や災害史を考える能力を養う。
到達目標	古代遺跡の構造や出土遺物から、遺跡の性格や時期的な特徴を理解し、律令国家の形成過程を考古学的に説明することができる。環境や災害という視点から古代社会の変化を理解している。
教科書と準備するもの	テーマに沿った資料を適宜配布する。
参考書	須田勉他『日本古代考古学論集』、江口桂他『古代官衙』、この他必要に応じて紹介する。
評価の基準	以下の2点を基準として評価する。①古代遺跡の特徴と性格を遺構・遺物から説明できる。②考古学からみた環境や災害について理解している。
具体的評価方法	授業内での発表やレポートなどで評価する。
フィードバック・	今年度新規担当。最新の調査・展示の情報を提供するので、積極的に遺跡や博物館見学をしてほしい。 質問は随時受け付けるので、疑問点は残さず学修してほしい。
単位互換	
特記	

	内容	ガイダンス 授業の進め方と研究史を説明する。		内容	国府の成立 国府の成立について、東国を中心に解説する。
第1回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	予習:シラバスを読んでおくこと。 復習:研究史の重要性を理解すること。	第16回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	予習:武蔵国府の立地について調べておく。 復習:国府立地の属性と地域性を理解する。
	授業実施特記			授業実施特記	
	内容	古代の考古学について 授業で扱う時代と地域の範囲を説明する。		内容	評家の設置 1 評と評家の設置について、律令国家の形成期と しての視点から解説する。
第2回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	予習:参考書で古代考古学について調べておく。 復習:研究史の重要性を確認しておく。配布資料を再読する。	第17回		予習:評制について予習しておくこと。 復習:評制期の歴史的意義について確認する。 配布資料を再読する。
	授業実施特記			授業実施特記	
	内容	古代遺跡の種類と構造 古代遺跡の種類と構造などについて解説する。		内容	評家の設置 2 評家の設置によって地域社会がどのように変化 し、景観がどう変遷するかを講義する。
第3回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	予習:参考書などで古代遺跡の種類について調べておく。 復習:古代の範囲を確認しておく。配布資料を再読する。	第18回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	予習: 評家遺跡の調査例を確認すること。 復習: 武蔵国の評家について理解する。
	授業実施特記			授業実施特記	
	内容	古墳時代から律令時代へ 1 前方後円墳の終焉と埴輪の消滅について、時代背景から説明をす る。		内容	評家の設置 3 評家遺跡の構造と変遷について解説する。
第4回	授業時間外におけ る学修 (予習・復 習等)	予習:古墳の墳形について調べておく。 復習:前方後円墳の分布を確認しておく。配布資料を再読する。	第19回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	予習: 評家の年代観について予習しておくこと。 復習: 評家の出現と郡家への移行について理解 しておく。
	授業実施特記			授業実施特記	
	内容	古墳時代から律令時代へ 2 終末期古墳の分布と出土遺物について解説する。		内容	国郡制と郡家 大宝令による郡の設置と評家との関係について 講義する。
第5回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	予習:終末期古墳とは何かを調べておく。 復習:終末期古墳の墳形の種類について理解する。	第20回		予習:大宝令について予習しておくこと。 復習:評家と郡家の比較をすること。配布資料 を再読する。
	授業実施特記			授業実施特記	
第6回	内容	古墳時代から律令時代へ 3	第21回	内容	郡家の構造 1

		終末期古墳と古代寺院の関係について解説する。			郡家の機能について、出土遺物や東国の郡家を 例に考える。
	授業時間外におけ る学修 (予習・復 習等)	予習:東国の出現期古代寺院について確認しておく。 復習:終末期古墳の特徴を理解する。		授業時間外におけ る学修 (予習・復 習等)	予習:「地方官衙の種類」講義で、郡家の役割 を確認しておく。 復習:国府との違いを確認すること。配布資料 を再読する。
	授業実施特記			授業実施特記	
	内容	飛鳥の遺跡群 1 飛鳥寺の建立と飛鳥諸宮について解説する。		内容	郡家の構造 2 正倉・政庁などの郡家諸施設について解説する。
第7回	授業時間外における学修(予習・復 習等)	予習: 飛鳥の立地について調べておく。 復習: 飛鳥時代の時代背景を確認する。配布資料を再読する。	第22回	授業時間外における学修(予習・復 習等)	予習:評家の構造について確認しておく。 復習:評家との構造上の違いを再確認する。
	授業実施特記			授業実施特記	
	内容	飛鳥の遺跡群 2 飛鳥編年と暦年代の比定について、畿内と東国を比較検討する。		内容	古代交通 1 官道の整備とその構造について解説し、古代景 観にどのような影響を及ぼしたか講義する。
第8回	授業時間外におけ る学修 (予習・復 習等)	予習:飛鳥編年について、藤原報告IIと平城報告VIIを確認しておく。 復習:編年に使用された主な遺跡を理解する。	第23回		予習:古代道路の調査例を調べておく。 復習:「地方官衙の種類」講義を確認し、配布 資料を再読する。
	授業実施特記			授業実施特記	
	内容	飛鳥の遺跡群 3 改新の詔について考古学的な視点から解説する。		内容	古代交通 2 駅家の整備とその構造について解説する。
第9回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	予習:大化改新について調べておく。 復習:天下立評などの詔について確認しておく。	第24回	授業時間外におけ る学修 (予習・復 習等)	予習:古代道路の構造を確認しておく。 復習:郡家と駅家の構造上の差を理解する。
	授業実施特記			授業実施特記	
	内容	飛鳥の遺跡群 4 飛鳥池遺跡の重要性について解説する。		内容	古代交通 3 水上交通関連遺跡を紹介し、その構造について 解説する。
第10回	授業時間外における学修(予習・復 習等)	予習:飛鳥池遺跡の位置や立地条件について調べておく。 復習:富本銭の重要性を確認しておく。	第25回	授業時間外における学修(予習・復 習等)	予習:「津」地名などについて調べておく。 復習:陸上交通との関連を理解する。
	授業実施特記			授業実施特記	
	内容	飛鳥の遺跡群 5 水落遺跡の構造を紹介し、時を支配する意味について理解する。		内容	居宅遺跡と出土遺物 律令時代の居宅を紹介し、地方官衙との比較から地域社会を考える。
第11回	授業時間外における学修(予習・復 習等)	予習:漏刻台について、その概要を調べておく。 復習:官僚制と水落遺跡の関係を確認しておく。	第26回	授業時間外における学修(予習・復 習等)	予習: 古墳時代の居館について調べておく。 復習: 配布資料を再読する。
	授業実施特記			授業実施特記	
	内容	飛鳥宮から藤原京へ 飛鳥を離れ、藤原京を建設した理由について解説する。		内容	庄家遺跡と出土遺物 初期庄園と呼ばれる、8世紀代の庄家の構造と 出土遺物について講義する。
第12回	授業時間外におけ る学修(予習・復 習等)	予習:藤原京の立地を調べておく。 復習:藤原京の特徴を確認しておく。配布資料を再読する。	第27回		予習:中世荘園について調べておく。 復習:庄家の構造と中世荘園を比較する。配布 資料を再読する。
	授業実施特記			授業実施特記	
	内容	平城遷都 平城京への遷都と藤原京の関係を解説する。		内容	自然科学と歴史考古学 花粉分析や火山灰分析などの科学分析から、古 代の景観と環境を考える。
第13回	る学修(予習・復 習等)	予習:藤原京と平城京の位置関係を調べておく。 復習:平城京の立地について確認しておく。配布資料を再読する。	第28回	授業時間外における学修(予習・復 習等)	予習:科学分析の種類を予習しておく。 復習:配布資料を再読する。
	授業実施特記	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		授業実施特記	
	内容	中央官衙の構造 藤原宮と平城宮の京内での位置関係とその違いについて解説する。		内容	歴史災害と考古学 古代の災害記録や地震・津波痕跡などから、古 代社会と災害の関わりを考える。
第14回	授業時間外における学修(予習・復 習等)	予習:平城宮の平面図を調べておく。 復習:『周礼』に基づく藤原宮と平城宮の違いを確認すること。	第29回	る学修 (予習・復習等)	予習: 六国史などの災害記録を確認しておく。 復習: 東日本大震災などの現代の災害と歴史災害を比較する。配布資料を再読する。
	授業実施特記			授業実施特記	
45.4 p.m.	内容	地方官衙の種類 地方官衙の成立と地方行政組織の変遷について概説し、古代景観 の成立を説明する。	# 30 E	内容	まとめ-古代景観を考える- これまでの授業で得られた知識と新知見から、 古代社会の景観を考えてみる。
第15回	授業時間外における学修(予習・復 習等) 授業実施特記	予習:地方官衙とは何か調べておく。 復習:中央官衙との比較をすること。配布資料を再読する。	第30回	授業時間外における学修(予習・復 習等) 授業実施特記	予習: これまでの資料を確認しておく。 復習: 特定の遺跡の景観を想定してみる。
					1

履修コード/科目名称	824701	/ 考古学特講Ⅲ	講義】			
開講年度・期	2020年	通年	開講曜日・時限			
単位数	4					
付記						
主担当教員氏名(カナ)	角道 勇	<b>急介(カクドウ !</b>	<b>リヨウスケ</b> )			
副担当教員氏名(カナ)						
授業概要	研究者とし	考古学の研究をするためには、まずは考古学の研究法を学ばねばならない。本講義では研究者として身につけておくべき考古学上の諸理論を原書講読の形を通じて学び、様々なアプローチの有効性について検討する。				
到達目標(ねらい)	る。 本科目は、	本科目は、人文科学研究科歴史学専攻の学位授与の方針DP1と特に関連が強く、DP2にも				
授業スケジュール	関連する。第1回		ガイダンス: 授業スケジュールについて			
1×木ハノノユ ル	75 1 凹	準備学習	カイタンス: 授業スケジュールを念頭に、年間の研究計画を			
			復習:校業スクシュールを活頭に、年间の研究計画を 立てること。	605		
	第 2 回	授業の計画・内容	考古学史の歴史1:考古学史の重要性			
		準備学習 (予習・復習等)	予習:授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ 、不明な用語などを調べておくこと。	605		
	第 3 回	授業の計画・内容	考古学学史の歴史2:社会的背景			
		準備学習 (予習・復習等)	予習:授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ 、不明な用語などを調べておくこと。	603		
	第 4 回	授業の計画・内容	古典考古学の展開1:過去への興味と中世の歴史観			
		準備学習 (予習・復習等)	予習:授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ 、不明な用語などを調べておくこと。	605		
	第 5 回	授業の計画・内容	古典考古学の展開2:ルネサンスと古典考古学のあゆみ			
		準備学習 (予習・復習等)	予習:授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ 、不明な用語などを調べておくこと。	603		
	第 6 回	授業の計画・内容	古典考古学の展開3:エジプト学とアッシリア学			
		準備学習 (予習・復習等)	予習:授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ 、不明な用語などを調べておくこと。	603		
	第7回	授業の計画・内容	古典考古学の展開4:東アジアにおける「考古」の展開			
		準備学習 (予習・復習等)	予習:授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ 、不明な用語などを調べておくこと。	603		
	第 8 回	授業の計画・内容	考古学の誕生1:古物趣味と啓蒙主義			
		準備学習 (予習・復習等)	予習:授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ 、不明な用語などを調べておくこと。	60%		
	第 9 回	授業の計画・内容	考古学の誕生2:石器と先史考古学			
		準備学習 (予習・復習等)	予習:授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ 、不明な用語などを調べておくこと。	603		
	第 10 回	授業の計画・内容	考古学の誕生3:進化論と考古学			
		準備学習 (予習・復習等)	予習:授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ 、不明な用語などを調べておくこと。	60%		
	第 11 回	授業の計画・内容	考古学の誕生4:人種主義と社会進化論			
		準備学習 (予習・復習等)	予習:授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ 、不明な用語などを調べておくこと。	603		
	第 12 回	授業の計画・内容	考古学の誕生5:植民地考古学と差別主義			

	準備学習 (予習・復習等)	予習:授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
第 13 回	授業の計画・内容	文化史的考古学1:伝播と文化	
	準備学習 (予習・復習等)	予習:授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ 、不明な用語などを調べておくこと。	60分
第 14 回	授業の計画・内容	文化史的考古学2:チャイルドとヨーロッパの文化編年	
	準備学習 (予習・復習等)	予習:授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ 、不明な用語などを調べておくこと。	60分
第 15 回	授業の計画・内容	前期のまとめ: 古物趣味から文化史的考古学まで	
	準備学習 (予習・復習等)	予習:授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ 、不明な用語などを調べておくこと。	60分
第 16 回	授業の計画・内容	文化史的考古学3:アメリカの文化史的考古学	
	準備学習 (予習・復習等)	予習:授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ 、不明な用語などを調べておくこと。	60숫
第 17 回	授業の計画・内容	プロセス考古学の萌芽1:環境と社会人類学	
	準備学習 (予習・復習等)	予習:授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ 、不明な用語などを調べておくこと。	60分
第 18 回	授業の計画・内容	プロセス考古学の萌芽2:人類経済学と考古学	
	準備学習 (予習・復習等)	予習:授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
第 19 回	授業の計画・内容	プロセス考古学の萌芽3:社会主義と考古学研究	
	準備学習 (予習・復習等)	予習:授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60 <i>5</i>
第 20 回	授業の計画・内容	プロセス考古学の萌芽4:技術研究と機能主義	
	準備学習 (予習・復習等)	予習:授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ 、不明な用語などを調べておくこと。	60£
第 21 回	授業の計画・内容	プロセス考古学の萌芽5:生態学的研究とセツルメント論	
	準備学習 (予習・復習等)	予習:授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ 、不明な用語などを調べておくこと。	60 <i>5</i>
第 22 回	授業の計画・内容	プロセス考古学の発展1:新進化主義	
	準備学習 (予習・復習等)	予習:授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	605
第 23 回	授業の計画・内容	プロセス考古学の発展2:ビンフォードとニューアーケオ	ロジー
	準備学習 (予習・復習等)	予習:授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ 、不明な用語などを調べておくこと。	605
第 24 回	授業の計画・内容	プロセス考古学の発展3:中範囲理論と高位理論	
	準備学習 (予習・復習等)	予習:授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ 、不明な用語などを調べておくこと。	605
第 25 回	授業の計画・内容	ポストプロセス考古学の出現1:プロセス考古学の問題点	
	準備学習 (予習・復習等)	予習:授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ 、不明な用語などを調べておくこと。	605
第 26 回	授業の計画・内容	ポストプロセス考古学の出現2:複雑化するアプローチ	
	準備学習 (予習・復習等)	予習:授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60 <i>5</i>
第 27 回	授業の計画・内容	ポストプロセス考古学の出現3:思想・個人・技術	
	準備学習 (予習・復習等)	予習:授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ 、不明な用語などを調べておくこと。	60 <i>5</i>
第 28 回	授業の計画・内容	後期のまとめ1:文化史的考古学から初期の機能主義へ	
	準備学習 (予習・復習等)	予習:授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ 、不明な用語などを調べておくこと。	60 <i>5</i>

	第 29 回	授業の計画・内容	後期のまとめ2:プロセス考古学とポストプロセス考古学	
		準備学習 (予習・復習等)	予習:授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ 、不明な用語などを調べておくこと。	60分
	第 30 回	授業の計画・内容	総括: 考古学の理論	
		準備学習 (予習・復習等)	予習:授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ 、不明な用語などを調べておくこと。	60分
履修上の留意点等	しい。		基礎となる重要なテーマである。恐れず積極的に参加し 売を予定しているが、参加者の状況に応じて調整したい	
成績評価の方法		試験		
	40 %	レポート		
		小テスト		
	60 %	平常点		
教科書/テキスト	初回授業時	に指示する。		
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	授業におい	いて適宜指示する。		
学生による授業アンケート結 果等による授業内容・方法の改 善について	アンケート	、実施対象外科目。		
関連リンク				
実務経験がある教員による授 業科目				
アクティブラーニング型の授 業科目				

履修コード/科目名称	824721	/ 考古学演習Ⅲ	【演省】					
開講年度・期	2020年	通年	開講曜日・時限					
単位数	4							
付記								
主担当教員氏名(カナ)	角道 勇	<b>売介(カクドウ !</b>	<i>)</i> ヨウスケ)					
副担当教員氏名(カナ)								
授業概要	殷周青銅器	景銘文の釈読を行っ	う。また、必要に応じて履修者の研究発表も行う。					
到達目標(ねらい)		中国殷周時代の青銅器銘文を主な対象資料とし、履修者全員で釈読することを通じて当時の社会・思想への理解を深める。						
	本科目は、 DP3にも関		歴史学専攻の学位授与の方針DP1・DP2と特に関連が強	<,				
授業スケジュール	第1回	授業の計画・内容	殷周青銅器銘文について					
		準備学習 (予習・復習等)	復習:授業で提示された資料の所在を確認し、利用で きる環境を整えること。	60 <i>5</i>				
	第 2 回	授業の計画・内容	金文の読み方1:金石学と金文釈読の歴史					
		準備学習 (予習・復習等)	復習:授業で提示された資料の所在を確認し、利用で きる環境を整えること。	603				
	第 3 回	授業の計画・内容	金文の読み方2:工具書とその利用方法					
		準備学習 (予習・復習等)	復習:授業で提示された資料の所在を確認し、利用で きる環境を整えること。	603				
	第 4 回	授業の計画・内容	殷周青銅器の器種と型式変化1: 烹煮器の型式					
		準備学習 (予習・復習等)	復習:授業で提示された資料の所在を確認し、利用で きる環境を整えること。	605				
	第 5 回	授業の計画・内容	殷周青銅器の器種と型式変化2:酒器の型式					
		準備学習 (予習・復習等)	復習:授業で提示された資料の所在を確認し、利用で きる環境を整えること。	603				
	第 6 回	授業の計画・内容	研究発表1					
		準備学習 (予習・復習等)	予習:自身の発表テーマに関する資料を収集し整理すること。 復習:授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	603				
	第7回	授業の計画・内容	研究発表2					
		準備学習 (予習・復習等)	予習:自身の発表テーマに関する資料を収集し整理すること。 復習:授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	603				
	第8回	授業の計画・内容	金文釈読1					
		準備学習 (予習・復習等)	予習:扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習:授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	1205				
	第 9 回	授業の計画・内容	金文釈読2					
		準備学習 (予習・復習等)	予習:扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習:授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	1203				
	第 10 回	授業の計画・内容	金文釈読3					
		準備学習 (予習・復習等)	予習:扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習:授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	1205				
	第 11 回	授業の計画・内容	A Lowerty					

	準備学習 (予習・復習等)	予習:扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習:授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	120分
第 12 回	授業の計画・内容	金文釈読5	
	準備学習 (予習・復習等)	予習:扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習:授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	120分
第 13 回	授業の計画・内容	金文釈読6	
	準備学習 (予習・復習等)	予習:扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習:授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	120分
第 14 回	授業の計画・内容	研究発表3	
	準備学習 (予習・復習等)	予習:自身の発表テーマに関する資料を収集し整理すること。 復習:授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	60分
第 15 回	授業の計画・内容	前期のまとめ:青銅器と銘文	
	準備学習 (予習・復習等)	復習:自身の発表テーマに関する資料を収集し整理す ること。	60分
第 16 回	授業の計画・内容	殷周青銅器の鋳造技法について1:鋳造痕跡と鋳型	
	準備学習 (予習・復習等)	復習:扱う銘文の資料を収集し整理すること。	60分
第 17 回	授業の計画・内容	殷周青銅器の鋳造技法について2:紋様の鋳造について	
	準備学習 (予習・復習等)	復習:扱う銘文の資料を収集し整理すること。	60分
第 18 回	授業の計画・内容	殷周青銅器の鋳造技法について3:銘文の鋳造について	
	準備学習 (予習・復習等)	復習:扱う銘文の資料を収集し整理すること。	60分
第 19 回	授業の計画・内容	金文釈読7	
	準備学習 (予習・復習等)	予習:扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習:授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	120分
第 20 回	授業の計画・内容	金文釈読8	
	準備学習 (予習・復習等)	予習:扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習:授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	120分
第 21 回	授業の計画・内容	金文釈読9	
	準備学習 (予習・復習等)	予習:扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習:授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	120分
第 22 回	授業の計画・内容	金文釈読10	
	準備学習 (予習・復習等)	予習:扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習:授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	120分
第 23 回	授業の計画・内容	研究発表4	
	準備学習 (予習・復習等)	予習:自身の発表テーマに関する資料を収集し整理すること。 復習:授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	120分
第 24 回	授業の計画・内容		
	準備学習 (予習・復習等)	予習:自身の発表テーマに関する資料を収集し整理すること。 復習:授業で指摘された問題点について調査を進め、	120分
		疑問を解決すること。	

		準備学習 (予習・復習等)	予習:扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習:授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	120分
	第 26 回	授業の計画・内容	金文釈読12	
		準備学習 (予習・復習等)	予習:扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習:授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	120分
	第 27 回	授業の計画・内容	金文釈読13	
		準備学習 (予習・復習等)	予習:扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習:授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	120分
	第 28 回	授業の計画・内容	金文釈読14	
		準備学習 (予習・復習等)	予習:扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習:授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	120分
	第 29 回	授業の計画・内容	金文釈読15	
		準備学習 (予習・復習等)	予習:扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習:授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	120分
	第 30 回	授業の計画・内容	総括: 青銅器銘文の役割	
		準備学習 (予習・復習等)	復習:銘文釈読に必要な工具書の利用方法について再 確認すること。	60分
履修上の留意点等	古文字は一い。	一朝一夕に読める。	ようになるものではない。地道な予習・復習を心掛けて	ほし
成績評価の方法		試験		
		レポート		
		小テスト		
		平常点		
	100 %	研究発表・金文新	読	
教科書/テキスト	初回授業時	に指示する。		
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	授業中に通	質官指示する。		
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	アンケート	、実施対象外科目	であるが、授業への要望があれば遠慮なく伝えてほしい	\ <sub>0</sub>
関連リンク				
実務経験がある教員による授 業科目				
アクティブラーニング型の授 業科目	授業内で、	ディスカッション	ンやプレゼンテーションを実施する。	

履修コード/科目名称	824751	/ 考古学特講IV	【講義】		
開講年度・期	2020年	通年	開講曜日・時限		
単位数	4				
付記					
主担当教員氏名(カナ)	土生田	純之(ハブタ	ヨシユキ)		
副担当教員氏名(カナ)					
授業概要		は横穴式石室を素材 て進めたい。	材とする。横穴式石室と関連する、	すべての研究素材と	の比較
到達目標(ねらい)	横穴式石雪	室の概要			
授業スケジュール	第1回	授業の計画・内容	棺と槨 学史上、有名な棺槨論争に 。90分	こついてその概要を紹	介する
		準備学習 (予習・復習等)	棺槨論争の研究史を学んでおくこと	۲.	603
	第 2 回	授業の計画・内容	竪穴式石室と横穴式石室 構造上のから比較する。90分	の問題をはじめあらは	る観点
		準備学習 (予習・復習等)	両石室の相違を考えておくこと。		603
	第 3 回	授業の計画・内容	地域の古墳と横穴式石室の形態 札 この概要を説明する。90分	黄穴式石室は地域差が	多い。
		準備学習 (予習・復習等)	地域差が大きい横穴式石室なので、 室をまとめておくこと。		603
	第 4 回	授業の計画・内容	九州の横穴式石室 九州の横穴式石 他所のどこより極めて早い時期に の概要を説明する。90分		
		準備学習 (予習・復習等)	九州の石室も地域差があるので、 えておくこと。	その差異について考	603
	第 5 回	授業の計画・内容	畿内型石室の登場 畿内型石室の原 あなしきせきしつがじゅようされる とを学習する。90分		
		準備学習 (予習・復習等)	畿内型石室の登場が、なぜ他地方の石室に変化させたのか考究しておく		603
	第 6 回	授業の計画・内容	畿内型石室の展開 畿内型石室は 向かう。その概要を説明する。90分		美化に
		準備学習 (予習・復習等)	各自出身地の横穴式石室の展開が約 否かあらかじめ考えておくこと。	畿内型石室と同様か	605
	第7回	授業の計画・内容	指標石について 横穴式石室の構築 奥壁を指標として、その中間を埋め 要を説明する。90分		
		準備学習 (予習・復習等)	各自出身地の横穴行石室にも指標7 有無について考えておくこと。	石が存在するのかの	605
第	第 8 回	授業の計画・内容	調整区の存在 前回の講義による打 どうしてもうまく合わない箇所が り小型の石材によって埋めあわせる 判明する実態にについて触れる。9	最後に残る。この部分 ることになる。その概	は他よ
		準備学習 (予習・復習等)	各自の出身地の横穴式石室が畿内と か否かについて官衙ておくこと。	と同様の方法である	603
	第 9 回	授業の計画・内容	古墳築造と横穴式石室 これまでは ものの把握にとどまっていた。した 連性の中にある。今回はこのことを	かし、実際は墳丘構築	
		準備学習 (予習・復習等)	やはり各自出身地の横穴式石室とり 認められるものか考えること。	費丘構築の関連性が	60%
	第 10 回	授業の計画・内容	調整区のない横穴式石室の登場 はん地域によって差異があるが)調整 その実態を説明する。90分		

	準備学習 (予習・復習等)	各自出身地の横案式石室について、調整区のない石室 の登場期を考えておくこと。	60分
第 11 回	授業の計画・内容	地域差による調整区のない石室の登場 調整区のない石場・時期が地域によって差異が目立つ。その実態を説明0分	
	準備学習 (予習・復習等)	なぜ地域によって調整関市鵜の登場が異なるのか考察 しておくこと。	60分
第 12 回	授業の計画・内容	調整区のない横穴式石室と寺院建築の関係 調整区のな 式石室の登場は、寺院建築、中でも基壇外面の化粧基壇 する。このことを考える。90分	
	準備学習 (予習・復習等)	各自出身地の古代寺院中最古と目さる寺院を把握して おくこと。	60分
第 13 回	授業の計画・内容	総合的な横穴式石室の歴史的意義 これまで学んだことって全員で議論する。90分	をめぐ
	準備学習 (予習・復習等)	これまで学んだ横穴式石室から何が得られるか歴史的 な意義を考究しておくこと。	90分
第 14 回	授業の計画・内容	竪穴式石室と横穴式石室にみる死後の世界観 ヤマトタ 説と黄泉国訪問譚にみる死生観の変遷を考える。90分	ケル伝
	準備学習 (予習・復習等)	記紀の記事中、関連する部分を読んでおくこと。	60分
第 15 回	授業の計画・内容	竪穴系埋葬施設の死後の世界 ヤマトタケル伝説は竪穴の儀礼とも関連する。このことを考える。90分	式石室
	準備学習 (予習・復習等)	ヤマトタケル伝説の中で、どのようなことが考えられ るかあらかじめチェックしておくこと。	60分
第 16 回	授業の計画・内容	横穴系埋葬施設の死後の世界 横穴系埋葬施設の受容はの一大変革期でもあった。このことをめぐる諸説を検討0分	
	準備学習 (予習・復習等)	黄泉国訪問譚から、葬送儀礼の何が判明するか考えて おくこと。	60分
第 17 回	授業の計画・内容	朝鮮半島の横穴式石室(1) 近年の調査によって九州系は 内型石室が百済石室の影響であることがわかってきた。 とを解説する。90分	
	準備学習 (予習・復習等)	朝鮮半島の横穴式石室についての論文を読んでおくこと。 なお、論文はあらかじめ指定する。	60分
第 18 回	授業の計画・内容	朝鮮半島の横穴式石室(2) 百済石室のほかに加耶の細野室の影響も考えられるため、半島の横穴式石室を一瞥す分	
	準備学習 (予習・復習等)	加耶の石室 (細長方形石室) に関する論文をあらかじ め読んでおくこと。これについても指定する。	60分
第 19 回	授業の計画・内容	朝鮮半島の横穴式石室(3) 列島における横穴式石室の記半島の石室との関連性について逐一考察することによっ0分	
	準備学習 (予習・復習等)	列島内におけるどの地域の横穴式石室と半島の度の石 室が関連性があるかあらかじめ考察すること。	60分
第 20 回	授業の計画・内容	畿内型石室と百済の横穴式石室 畿内型石室は単に百済 影響のみではないが、その相違についても留意しつつ考 。90分	
	準備学習 (予習・復習等)	畿内型石室と百済の石室との相違について考察してお くこと。	60分
第 21 回	授業の計画・内容	儀礼の変化からみた横穴式石室 横穴式石室はそれまで 式石室とは異なった儀礼をももたらしたが、当然儀礼の 石室受容後谷港に変化した。このことを確認する。90分	内容も
	準備学習 (予習・復習等)	横穴式石室における儀礼の実態を考えられる限り列挙 しておくこと。	60分
第 22 回	授業の計画・内容	横口式石槨と渡来人 横口式石槨はのちの畿内地方に成 。しかし当初は渡来人集住地に限定された。このことの 景を考究する。90分	
	準備学習 (予習・復習等)	朝鮮半島における横口式石槨の実例を把握すること。	60分

	第 23 回	授業の計画・内容	5世紀後半における倭の大変革 横穴式石室の広範な地域る普及をはじめ様々な改革が見られた5世紀後半を考究す分	
		準備学習 (予習・復習等)	直木氏の人制の研究を読んでおくこと。	60分
	第 24 回	授業の計画・内容	渡来人とアイデンティティ 渡来人はやがて倭人化して、一方で自らの出自に対する誇りを捨てることはなかっ 古学資料からそのことをどのように確認するか考究する	た。考
		準備学習 (予習・復習等)	渡来人の指標となるものについて考究しておくこと。	60分
	第 25 回	授業の計画・内容	横口式石槨と版築 横口式石槨は版築という新しい墳丘 ももたらす。このことを一瞥する。90分	構築を
		準備学習 (予習・復習等)	版築について、どの地域からもたらされたか、あらか じめ考えておくこと。	60分
	第 26 回	授業の計画・内容	横口式石槨の倭人の受容 7世紀中葉以後になると倭人も 石槨を受容する。そのような事例を紹介する。 90分	横口式
		準備学習 (予習・復習等)	律令体制の成立期についてあらかじめ考究しておくこと。	60分
	第 27 回	授業の計画・内容	横口式石槨倭人受容の史的背景 倭人がなぜ横口式石槨 したか、その史的背景を考究する。90分	を受容
		準備学習 (予習・復習等)	倭人の中でどのような階層の人々が横口式石槨を受容 したか考察しておくこと。	60分
	第 28 回	授業の計画・内容	壁画古墳と死後の世界 主として九州に多い壁画古墳の 紹介する。またその史的意義を考察する。90分	事例を
		準備学習 (予習・復習等)	壁画古墳にみられる死後の世界観が認められる古墳を あらかじめ把握しておくこと。	60分
	第 29 回	授業の計画・内容	高松塚・キトラ古墳にみる唐の影響 両古墳には明らか 期の影響が認められる。その実態を観察する。90分	に盛唐
		準備学習 (予習・復習等)	高松塚・キトラ古墳と唐代の石室にみる画題について 考察すること。	60分
	第 30 回	授業の計画・内容	総合的評価 それまでの授業によって得た横穴式石室の を各自どうとらえるか議論する。90分	諸問題
		準備学習 (予習・復習等)	これまで学んだ横穴式石室の総合化を図るために、受講者全員によって討論を行うこと。	100分
履修上の留意点等				
成績評価の方法		試験		
		レポート		
		小テスト		
	100 %	平常点		
	平常点によ	る。平常とは、名	毎回意見を述べてもらうがその内容による。	
教科書/テキスト	教科書は特	に用いない。		
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	『横穴式石	「室の研究』同成初	<b>社刊 2020年</b>	
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	授業の展開	<b>同時において建設</b> 的	内な意見があれば、対応する。	
関連リンク				
実務経験がある教員による授 業科目				
	İ			

開講年度・期	2020年	通任	開講曜日・時限		
単位数	4		万田4年   円 ・17   八		
付記	4				
主担当教員氏名(カナ)	<b>☆</b>	 建二(タカク ケ)	(2))		
副担当教員氏名(カナ)	向久 19		<i>79</i> )		
	44.3	de - V det feV V e			
授業概要	る。朝鮮 関係にある 関係にでんに 対外交流で 響を与えた	半島と日本列島は沿る。したがって、「る。今回の講義で呼るから、「一番な対りを通じて導入された。この講義では、	の考古学のうち、青銅器時代〜三 舌発な交流が行われており、両者 日本列島の文化を理解する上で、 取り扱う青銅器時代〜三国時代は 外交流が行われていた時代として た新たな文化や技術が、日本列島 大韓民国や朝鮮民主主義人民共 るが、必要に応じて日本や中国と	は歴史的・文化的に 朝鮮半島の文化の理 日本列島の弥生時 知られている。この の国家形成に少なか 和国における考古学	密解代よら的接は~うず調な不古な影
到達目標(ねらい)	義を理解で (1)各時代 (2)各時代	することを目的と における考古学的 における編年研究	調査・研究の成果、および東アジ する。具体的には、以下の3点を目 口な発掘調査成果を理解する。 こおよび文化的特徴を理解する。 後(中国大陸や日本列島など)との	目標とする。	学の意
授業スケジュール	第1回	授業の計画・内容	講義の概要と目的		
		準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書を確認しておく は講義内容を整理し、まとめてお		603
	第 2 回	授業の計画・内容	朝鮮半島における青銅器時代の文	化(1)-集落遺跡-	-
		準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟 た、講義後は講義内容を整理し、		603
	第3回	授業の計画・内容	朝鮮半島における青銅器時代の文現-	化(2)-生業と青銅	器の出
		準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟 た、講義後は講義内容を整理し、		60
	第 4 回	授業の計画・内容	朝鮮半島の支石墓文化(1)-支	石墓の形態と変遷-	
		準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟 た、講義後は講義内容を整理し、	-	60
	第5回	授業の計画・内容	朝鮮半島の支石墓文化(2) - 支背景 -	石墓に見られる階層性	と社会
		準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟 た、講義後は講義内容を整理し、		60
	第 6 回	授業の計画・内容	朝鮮半島における初期鉄器時代の 遺跡 -	文化(1)-集落遺跡	・墳墓
		準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟 た、講義後は講義内容を整理し、		60
	第 7 回	授業の計画・内容	朝鮮半島における初期鉄器時代の	文化(2)-青銅器・	鉄器-
		準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟 た、講義後は講義内容を整理し、		60
	第 8 回	授業の計画・内容	楽浪郡の文化(1) - 郡県の位置	問題と土城-	
		準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟 た、講義後は講義内容を整理し、	-	60
	第 9 回	授業の計画・内容	楽浪郡の文化(2)-古墳文化-		
		準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟 た、講義後は講義内容を整理し、		60

	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 11 回	授業の計画・内容	帯方郡の土城と古墳(2)-古墳文化-	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 12 回	授業の計画・内容	原三国時代の文化(1)-集落遺跡と古墳文化-	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 13 回	授業の計画・内容	原三国時代の文化(2) - 対外交流 -	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 14 回	授業の計画・内容	青銅器時代から原三国時代までのまとめと総括	
	準備学習 (予習・復習等)	青銅器時代から原三国時代までの講義内容を復習して おくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめ ておくこと。	60分
第 15 回	授業の計画・内容	高句麗の都城(1)-平壌の都城-	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 16 回	授業の計画・内容	高句麗の都城(2)-集安の都城-	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 17 回	授業の計画・内容	高句麗の古墳文化(1)-積石塚-	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 18 回	授業の計画・内容	高句麗の古墳文化(2)-壁画古墳-	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 19 回	授業の計画・内容	新羅の都城と寺院(1)-都城-	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 20 回	授業の計画・内容	新羅の都城と寺院(2)-寺院-	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 21 回	授業の計画・内容	新羅の古墳文化(1)-積石木槨墓-	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 22 回	授業の計画・内容	新羅の古墳文化(2)-横穴式石室墓-	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 23 回	授業の計画・内容	百済の都城と寺院(1)-都城-	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 24 回	授業の計画・内容	百済の都城と寺院(2)-寺院-	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 25 回	授業の計画・内容	百済の古墳文化(1)-積石塚・横穴式石室墓-	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 26 回	授業の計画・内容	百済の古墳文化(2)-塼室墓-	
	準備学習	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。ま	60分

		(予習・復習等)	た、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。		
	第 27 回	授業の計画・内容	加耶諸国の古墳文化(1)-金官国・大加耶国・安羅国-	の古墳	
		準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分	
	第 28 回	授業の計画・内容	加耶諸国の古墳文化(2)-古自国・多羅国・比自火国-	の古墳	
		準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分	
	第 29 回	授業の計画・内容	三国時代のまとめと総括		
		準備学習 (予習・復習等)	三国時代の講義内容を復習しておくこと。また、講義 後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分	
	第 30 回	授業の計画・内容	総括		
		準備学習 (予習・復習等)	青銅器時代から三国時代までの講義内容を復習しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分	
履修上の留意点等	特になし。				
成績評価の方法		試験			
	レポート				
	小テスト				
	100 %	平常点			
教科書/テキスト	特になし。	プリント資料を配	布する。		
参考書 ▶ 図書館蔵書検索			矢,山本孝文訳2013『概説韓国考古学』同成社 賁墓にみる国家形成』京都大学学術出版会		
学生による授業アンケート結 果等による授業内容・方法の改 善について	大学院科目	のため、授業アン	ノケート未実施 (授業アンケート対象外科目)		
関連リンク					
実務経験がある教員による授 業科目					
アクティブラーニング型の授 業科目					

<ul> <li>開講年度・期</li> <li>2020年 通年</li> <li>開講曜日・時限</li> <li>単位数</li> <li>4</li> <li>付記</li> <li>計上当教員氏名(カナ)</li> <li>一次学校展案</li> <li>一次生時代のはじまりは、日本列島において最も大きな歴史的転換の一つであった転換は、朝鮮半島や中国からの影響を背景にしたもので、大陸的な文化要素は残の骨格をなす。方、額文文化の比ぶるどころに譲棄されても。これまで取引でいた。様々文化の要の所覚はなおりにされてきた。本講義でこの点にながら、様々交観点がも観文時代の社会と事生時代の社会と上撃、集務を行う。第2回目以際の講義は、毎回、井舎賞によってわからなかった部分の質繁起だめることにする。</li> <li>御迷目標(ねらい)</li> <li>本に時代の社会と文化の授業を通じて、それぞれの基礎的別議を発表していたのからまったのと文化を対象化と文化の授業を通じて、それぞれの基礎的別議を授金によっておからなかった部分の質繁起だることにする。</li> <li>第1回 授業の計画・内容 マントロダクション 準備学習 (予習・愛習等)</li> <li>第2回 授業の計画・内容 イントロダクション</li> <li>準備学習 (予習・愛習等)</li> <li>教科書を読んでおく。</li> <li>第3回 授業の計画・内容 「発生化観の形成(1)」日本における近代も1学の成立から、時田始次郎の修正規的の場合・人類学史を扱う。</li> <li>準備学習 (予習・後習等)</li> <li>教科書を読んでおく。</li> <li>第3回 授業の計画・内容 「発生化観の形成(2)」山内治別の中間土器論、中山平次郎の金石(1) 月日本における近代も1学の成立から、時田始次郎の修正規的を合成である。</li> <li>第3回 授業の計画・内容 「発生化観の形成(2)」山内治別の中間土器論、中山平次郎の金石(1) 月日本における近代も1学の成立から、時田始次郎の旅行のに関や、力を主に表論の形成といった。目前がおりまで、大学和島誠、・近年教授の単立と観念の郷物史製にもとつ大学和島誠、・近年教授の形成と歌を強り、教科書を読んでおく。</li> <li>第4回 授業の計画・内容 「報文農耕と第生農耕の違い」「食の体系」のテーマ①として、農耕の問題を扱う(第年)・第2・6回等)</li> <li>教科書を読んでおく。</li> <li>第5回 授業の計画・内容 「報文農耕と第生農耕の違い」「食の体系」のテーマ①として、農耕の問題を扱う(第年)・1)。 準備学習 (予習・後回等)</li> <li>教科書を読んでおく。</li> <li>第5回 授業の計画・内容 「経文農耕と第生農耕の違い」「食の体系」のテーマ①として、農耕の問題を扱う(3年)・1)。 準備学習 (220分)のデーマのとして、農耕の問題を扱う(3年)・1)。 準備学習 (220分)のデーマのとして、農耕の問題を扱う(3年)・1)。 準備学習 (220分)のデーマのとして、農耕の問題を扱う(3年)・1)を表述されており、「現まれていまれていまれていまれていまれていまれていまれていまれていまれていまれてい</li></ul>	
登集 博己 (シタラ ヒロミ)	
登集   世紀   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	
副担当教員氏名(カナ)    授業機要	
接来概要	
転換は、朝鮮半島や中国からの影響を背景にしたもので、大陸的な文化要素は別の骨格をなす。一方、縄文文化もいたるところに継承されている。これまで弥生研究では、縄文文化の要素の研究はなおざりにされてきた。本講義ではこの点にながら、様々な観点から縄文時代の社会と弥生時代の社会と比較し、その異質性関係を請義し、毎回、事前学習によってわからなかった部分の質疑応答めることにする。  郷文時代と弥生時代の社会と文化の授業を通じて、それぞれの基礎的知識を獲名、文時代・無文化とはなにか、弥生時代・弥生文化とはなにかを考え、縄文時代生時代への転扱が日本やアジアの歴史にとってどのような意味をもっていたのかくらすきっかけとする。  第 1 回 授業の計画・内容 「弥生文化規の形成(1)」 日本における近代考古学の成立から、博田館次郎の弥生をへて、八水実三郎の中間上端論、中山平次郎の金石をへて、八水実三郎の中間上端論、中山平次郎の金石をへて、八水実三郎の中間上端論、中山平次郎の金石をへて、「大学三郎の村間上端論、中山平次郎の金石をへて、「大学三郎の村間上端論、中山平次郎の金石・正明の考古学・人類学史を扱う。  第 3 回 授業の計画・内容 「弥生文化観の形成(2)」山内清男の日本遠古の文化、森木六爾と小林行雄、杉川東京・お子堂会の弥生文化論と敬後の唯物史観にもとづ大や和島誠・、近藤義郎の弥生文化論までを扱う。  準備学習 (予習・復習等) 教科書を読んでおく。  第 4 回 授業の計画・内容 「もう二つの日本文化」 結縄文文化と貝塚後期文化を論じ、北海道と沖縄地方に非農耕文化と、そのことの歴史的な意義を論じる。  準備学習 (予習・復習等) 教科書を読んでおく。  「縄文農耕と弥生農耕の途い」「食の体系」のテーマ①として、農耕の問題を扱う(4) 専門・発習・後習等)教科書を読んでおく。	7 0
文時代・縄文文化とはなにか、弥生時代・弥生文化とはなにかを考え、縄文時代生時代への転換が日本やアジアの歴史にとってどのような意味をもっていたのかぐらすきっかけとする。  第 1 回 授業の計画・内容 イントロダクション 準備学習 (予習・復習等) 教科書を読んでおく。  第 2 回 授業の計画・内容 「弥生文化観の形成(1)」日本における近代考古学の成立から、蒔田鎗次郎の弥径をへて、八木奘三郎の中間上器論、中山平次郎の金石化の展開や、島居龍歳の目日本太論の形成といった、原正期の考古学・人類学史を扱う。  準備学習 (予習・復習等) 教科書を読んでおく。  第 3 回 授業の計画・内容 「弥生文化観の形成(2)」山内清男の日本遠古の文化、森本六爾と小林行雄、杉川東京!考古学会の弥生文化論と戦後の唯物史観にもとづ大や和島誠一、近藤義郎の弥生文化論までを扱う。  準備学習 (予習・復習等) 教科書を読んでおく。  第 4 回 授業の計画・内容 「もう二つの日本文化」 続縄文文化と貝塚後期文化を論じ、北海道と沖縄地方は非農耕文化と、そのことの歴史的な意義を論じる。  準備学習 (予習・復習等) 教科書を読んでおく。  第 5 回 授業の計画・内容 「縄文農耕と弥生農耕の違い」『食の体系』のテーマ①として、農耕の問題を扱う(3章ー1)。  準備学習 (予習・復習等) 教科書を読んでおく。	生文化 注着目し : : : : : : : : : : : : :
準備学習 (予習・復習等) 教科書を読んでおく。   第2回   授業の計画・内容   「弥生文化観の形成(1)」日本における近代考古学の成立から、蒔田鎗次郎の弥全をへて、八木奘三郎の中間上器論、中山平次郎の金石化の展開や、鳥居龍蔵の固有日本人論の形成といった、町正期の考古学・人類学史を扱う。   準備学習 (予習・復習等)   教科書を読んでおく。   「弥生文化観の形成(2)」山内清男の日本遠古の文化、森本六爾と小林行雄、杉原東京j考古学会の弥生文化論と戦後の唯物史観にもとづ大や和島誠一、近藤義郎の弥生文化論までを扱う。   準備学習 (予習・復習等)   教科書を読んでおく。   「もう二つの日本文化」   続縄文文化と貝塚後期文化を論じ、北海道と沖縄地方に非農耕文化と、そのことの歴史的な意義を論じる。   準備学習 (予習・復習等)   教科書を読んでおく。   「縄文農耕と弥生農耕の違い」『食の体系』のテーマ①として、農耕の問題を扱う(4章一1)。   準備学習 (予習・復習等)   教科書を読んでおく。   「縄文農耕と弥生農耕の違い」『食の体系』のテーマ①として、農耕の問題を扱う(4章一1)。   準備学習 (予習・復習等)   教科書を読んでおく。	から弥
(予習・復習等) 第2回 授業の計画・内容 「弥生文化観の形成(1)」日本における近代考古学の成立から、蒔田鎗次郎の弥らをへて、八木奘三郎の中間土器論、中山平次郎の金石化の展開や、鳥居龍蔵の固有日本人論の形成といった、民正期の考古学・人類学史を扱う。 準備学習 (予習・復習等) 第3回 授業の計画・内容 「弥生文化観の形成(2)」山内清男の日本遠古の文化、森本六爾と小林行雄、杉原東京著古学会の弥生文化論と戦後の唯物史観にもとづ大や和島誠一、近藤義郎の弥生文化論までを扱う。 準備学習 (予習・復習等) 第4回 授業の計画・内容 「もう二つの日本文化」 続縄文文化と貝塚後期文化を論じ、北海道と沖縄地方は非農耕文化と、そのことの歴史的な意義を論じる。 準備学習 (予習・復習等) 数科書を読んでおく。 第5回 授業の計画・内容 「縄文農耕と弥生農耕の違い」『食の体系』のテーマ①として、農耕の問題を扱う(ま草一1)。 教科書を読んでおく。	
日本における近代考古学の成立から、蒔田鎗次郎の弥全をへて、八木奘三郎の中間上器論、中山平次郎の金石石の展開や、鳥居龍蔵の固有日本人論の形成といった、町期の考古学・人類学史を扱う。  準備学習 (予習・復習等) 教科書を読んでおく。  第 3 回 授業の計画・内容 「弥生文化観の形成(2)」山内清男の日本遠古の文化、森本六爾と小林行雄、杉財東京著古学会の弥生文化論と戦後の唯物史観にもとづ大や和島誠一、近藤義郎の弥生文化論までを扱う。  準備学習 (予習・復習等) 教科書を読んでおく。  第 4 回 授業の計画・内容 「もう二つの日本文化」続縄文文化と貝塚後期文化を論じ、北海道と沖縄地方は非農耕文化と、そのことの歴史的な意義を論じる。  準備学習 (予習・復習等) 教科書を読んでおく。  第 5 回 授業の計画・内容 「縄文農耕と弥生農耕の違い」『食の体系』のテーマ①として、農耕の問題を扱う(4章一1)。  準備学習 (予習・復習等) 教科書を読んでおく。	60
(予習・復習等) 教科書を読んでおく。 (予習・復習等) 授業の計画・内容 「弥生文化観の形成(2)」 山内清男の日本遠古の文化、森本六爾と小林行雄、杉 東京, j 考古学会の弥生文化論と戦後の唯物史観にもとづ 大や和島誠一、近藤義郎の弥生文化論までを扱う。  準備学習 (予習・復習等) 教科書を読んでおく。 (予習・復習等) 教科書を読んでおく。  準備学習 (予習・復習等) 教科書を読んでおく。  第 5 回 授業の計画・内容 「縄文農耕と弥生農耕の違い」 『食の体系』のテーマ①として、農耕の問題を扱う(ま章ー1)。  準備学習 (予習・復習等) 教科書を読んでおく。	并用期論
山内清男の日本遠古の文化、森本六爾と小林行雄、杉原東京j考古学会の弥生文化論と戦後の唯物史観にもとづ大や和島誠一、近藤義郎の弥生文化論までを扱う。  準備学習 (予習・復習等) 教科書を読んでおく。  第4回 授業の計画・内容 「もう二つの日本文化」 続縄文文化と貝塚後期文化を論じ、北海道と沖縄地方に非農耕文化と、そのことの歴史的な意義を論じる。  準備学習 (予習・復習等) 教科書を読んでおく。  第5回 授業の計画・内容 「縄文農耕と弥生農耕の違い」 『食の体系』のテーマ①として、農耕の問題を扱う(教育・1)。  準備学習 (予習・復習等) 教科書を読んでおく。	60
(予習・復習等) 教科書を読んでおく。  第 4 回 授業の計画・内容 「もう二つの日本文化」 続縄文文化と貝塚後期文化を論じ、北海道と沖縄地方に非農耕文化と、そのことの歴史的な意義を論じる。  準備学習 (予習・復習等) 教科書を読んでおく。  第 5 回 授業の計画・内容 「縄文農耕と弥生農耕の違い」 『食の体系』のテーマ①として、農耕の問題を扱う(教育・復習等) 教科書を読んでおく。	
続縄文文化と貝塚後期文化を論じ、北海道と沖縄地方に非農耕文化と、そのことの歴史的な意義を論じる。 準備学習 (予習・復習等) 教科書を読んでおく。 第 5 回 授業の計画・内容 「縄文農耕と弥生農耕の違い」 『食の体系』のテーマ①として、農耕の問題を扱う(教育・復習等) 教科書を読んでおく。	60
(予習・復習等) 教科書を読んでおく。  (予習・復習等) 「縄文農耕と弥生農耕の違い」 『食の体系』のテーマ①として、農耕の問題を扱う(す 章ー1)。  李備学習 (予習・復習等) 教科書を読んでおく。	こ生じた
『食の体系』のテーマ①として、農耕の問題を扱う( 章一1)。 準備学習 (予習・復習等) 教科書を読んでおく。	60
(予習・復習等) 教科書を読んでおく。	数科書第
第 6 回 授業の計画・内容 「採集狩猟民的漁撈と農耕民的漁撈」	60
『食の体系』のテーマ②として、漁撈の問題を扱う( 章-2)。	数科書第
準備学習 (予習・復習等) 教科書を読んでおく。	60
第7回 授業の計画・内容 「動物観の変遷」 『食の体系』のテーマ③として、狩猟の問題と、動物に 縄文文化と弥生文化の考え方の違いを、精神文化の側面 て考える(教科書第1章-3)。	
準備学習 (予習・復習等) 教科書を読んでおく。	60

第8回	授業の計画・内容	「環状集落と環濠集落」 『ムラの姿の変貌』のテーマ①として、縄文文化と弥生文 特徴的な集落形態を取り上げ、その形態の違いの由来と意 探る(教科書第2章-2)。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 9 回	授業の計画・内容	「弥生都市論の評価」 『ムラの姿の変貌』のテーマ②として、弥生時代の大型集 都市と理解する考え方を紹介し、論評する(教科書第2章-	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 10 回	授業の計画・内容	「家族のあり方」 『集団組織の変化』のテーマ①として、縄文時代と弥生時 親族組織をどのように把握すればよいのかを踏まえつつ、 ぞれの文化の集落のメンバーシップについて考える(教科章-1)。	それ
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 11 回	授業の計画・内容	「縄文時代の土偶と石棒」 『集団組織の変化』のテーマ②として、縄文時代を代表す 術的遺物である土偶と石棒を取り上げ、縄文時代の男女の 性とその根差すところを論じる(教科書第3章—1)。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 12 回	授業の計画・内容	「弥生時代における男女一対の観念とその由来」 『集団組織の変化』のテーマ③として、縄文時代の土偶か 時代にはどのように変化していくのか、またその背景を土 容器や分銅形土製品などから探る(教科書第3章-2・3)。	:偶形
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 13 回	授業の計画・内容	「巨大な耳飾りの役割と抜歯の意義」 『人生の節目』のテーマ①として、縄文時代の通過儀礼のと、そこから導き出せる社会的な意義に対する機能論的な(教科書第4章-1・2)。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 14 回	授業の計画・内容	「イレズミの変容」 『人生の節目』のテーマ②として、イレズミの歴史を探る古事記』『日本書紀』と人物埴輪から古代のイレズミ実在展開し、絵画や土偶などから縄文時代へと型式学的に遡及、イレズミの性格変化とその意義を探る(教科書第4章-3	:論を :して
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 15 回	授業の計画・内容	「縄文時代の祖先祭祀」 『祖先のまつり』のテーマ①として、縄文時代の葬墓制を上げて、文化人類学による祖先祭祀の要件を適応しつつ、時代の祖先祭祀のあり方と特質を推測する(教科書第5章・。	縄文
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 16 回	授業の計画・内容	「弥生再葬墓の形成とその背景」 『祖先のまつり』のテーマ②として、弥生時代の東日本に した再葬墓を取り上げ、その形成要因の一端を祖先祭祀と えて、縄文時代からの文化の継承と変容を探る(教科書第 2)。	とら
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 17 回	授業の計画・内容	「大陸由来の祖先祭祀」 『祖先のまつり』のテーマ③として、弥生文化のなかに中 らの影響、すなわち大陸由来の祖先祭祀をとらえて、その 過程を墳墓祭祀から明らかにする(教科書第5章-3)。	
	準備学習		

	(予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 18 回	授業の計画・内容	「弥生土器の成立と縄文土器」 『受け継がれる縄文文化』のテーマ①として、弥生前期 板付 I 式弥生土器を取り上げ、その文様の成立に亀ヶ岡: が影響を与えていたことを論じる(教科書第6章—1)。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 19 回	授業の計画・内容	「木葉文と流水文」 『受け継がれる縄文文化』のテーマ②として、弥生前期 川式土器に施された木葉文と流水文という代表的な文様 上げ、いすれもその源流が縄文晩期の東日本の土器にある を論じる(教科書第6章-2)。	を取り
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 20 回	授業の計画・内容	「銅鐸文様の起源」 『受け継がれる縄文文化』のテーマ③として、大阪府東 跡出土銅鐸文様を取り上げ、菱環鈕式銅鐸の文様も踏ま ら、それらが東日本の晩期縄文土器の文様に由来するこ の意義を考える(教科書第6章-3)。	えなが
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 21 回	授業の計画・内容	「石器の生産と流通」 『生産と流通の変化』のテーマ①として、縄文時代の石 産・流通と弥生時代のそれを比較しながら、どこが異な 、またその歴史的な意義がどこにあるのか学習する(教 章一1)。	るのか
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 22 回	授業の計画・内容	「渡来系の人々と青銅器生産」 『生産と流通の変化』のテーマ②として、弥生時代中期 渡来系土器を出土する地域の土器と青銅器の鋳型や鉄器 上げて、その背景といかにその時期が縄文~弥生時代を 歴史の画期となっていたのかを探る(教科書第7章-2)。	を取り 通じて
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 23 回	授業の計画・内容	「石器から鉄器へ一地域間の関係性の変化ー」 『生産と流通の変化』のテーマ③として、鉄器がどのよ 本列島に導入されて、どのように拡散していくのか、韓 鉄器生産のと倭系遺物のあり方を抑えながら、弥生時代の受容ありようとその歴史的な意義を探る(教科書第7章	半島の の鉄器
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 24 回	授業の計画・内容	「アメリカ北西海岸の先史社会とネイティブアメリカン(学)	
		アメリカ北西海岸先史社会の階層化の研究状況と問題点はし、縄文文化の階層化社会問題を考える手掛かりとする。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 25 回	授業の計画・内容	「縄文時代の階層と弥生時代の首長」 『クニへの歩み』のテーマ①として、縄文社会の階層化 扱い、研究の現状を理解する(教科書第8章—1)。	問題を
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 26 回	授業の計画・内容	「倭国乱れる一漢帝国の盛衰とともに一」 『クニへの歩み』のテーマ②として、弥生時代の階層化 扱い、多副葬墓と墳丘墓の展開から首長制の形成過程を 漢帝国とのかかわりを金印などを素材として理解し、その わり方の変化と倭国の形成との相関関係を考える(教科 一2)。	追う。 のかか
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
		'	

	第 27 回	授業の計画・内容	「纏向遺跡と卑弥呼」 『クニへの歩み』のテーマ③として、纏向遺跡で出土した遺物を取り上げ、それを起点として弥生時代終末の儀礼のを探り、そこに弥生時代から古墳時代へと移り変わる文化会の縮図を見通す(教科書第8章—3)。	)変化
		準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
	第 28 回	授業の計画・内容	「節分は豆まきの起源」 方相氏という古代の役職の日本列島への導入をめぐり、中 思想が3世紀に流入していたことを議論する(教科書第8章。	
		準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
	第 29 回	授業の計画・内容	「アヨアヨ考」 日本列島における妖怪の起源を探りながら、中国思想の景 受けた日本的世界観の形成を論じる。	/響を
		準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
	第 30 回	授業の計画・内容	総括 弥生文化研究の視点を討議する。	
		準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
履修上の留意点等			時に、学習テーマにつき事前学習での疑問点を板書し、 ます。事前学習を怠らないようにしましょう。	てもら
成績評価の方法	50 %	試験		
		レポート		
		小テスト		
	50 %	平常点		
教科書/テキスト	設楽博己20	 14『縄文社会と弥	生社会』敬文舎	
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	24回目の講 博己訳『複	講義にケネス・エー 夏雑採集狩猟民と	ームス、ハーバート・マシュナー著、佐々木憲一監訳、 はなにか-アメリカ北西海岸の先史考古学-』雄山閣の C おいてください。	
学生による授業アンケート結 果等による授業内容・方法の改 善について				
関連リンク				
実務経験がある教員による授 業科目				
アクティブラーニング型の授 業科目				

開講年度・期	2020年	通年	開講曜日・時限		
単位数	4	ж-	MAHIATE H MAIN		
付記	1				
主担当教員氏名(カナ)	松木市	 式彦(マツギ タク			
副担当教員氏名(カナ)	1471				
授業概要	社会変動な ます。また 作成へとま	この授業では、水稲農耕の定着とともに、日本列島の国家形成の端緒となるさまざまな社会変動が生じた弥生時代について、考古学上の議論の現状と展望について知識を深めます。また、それを受けて、自らの学習・研究内容に関する問題の設定、および論考の作成へと考察を深める方法についても学びます。授業は講義形式で行いますが、ディスカッションなどを通じて自らの知識の習得度や理解度を確認する機会をもちます。			
到達目標(ねらい)	心が高い 高等学校を として十分 いることと た対象でで	寺代であり、大学 をはじめとする教育 かに活躍できるだり いう、人文科学研 け。この授業を通り	でも比較的多くの研究者が集中し ・研究機関において研究者・教育 育界や博物館・資料館・文書館・ ナの人格と専門的研究能力に裏打 研究科歴史学専攻の教育方針に沿 ごて、博物館や学校などの教育機 芯え得る専門家として活動できる	者・指導者として,ま 教育委員会などで,専 ちされた力量を兼ね備 って学習を深めるのに 関あるいは大学などの	た門で は で で で で で で で で で で で で で で で で で で
授業スケジュール	第1回	授業の計画・内容	弥生時代はどのように研究されて 討	きたか?-学史的・歴史	- 已的検
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える		60分
	第 2 回	授業の計画・内容	集落と集団の復元 ①単位集団論	とその背景(1960年代)	
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える		60 <i>5</i>
	第3回	授業の計画・内容	集落と集団の復元 ②拠点集落論	の登場(1970-80年代)	
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える		60£
	第 4 回	授業の計画・内容	集落と集団の復元 ③「弥生都市 )	」論の評価と総括(199	0年代
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える		60分
	第 5 回	授業の計画・内容	集落と集団の復元 ④「弥生都市 の再検討へ(2000年代以降)	」論への批判から拠点気	長落論
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える		60£
	第 6 回	授業の計画・内容	集落と集団の復元①~④のまとめ	とディスカッション	
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える		60 <i>5</i>
	第7回	授業の計画・内容	集団と社会の復元 ①高地性集落と	社会統合論(1960-197	0年代
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える		605
	第8回	授業の計画・内容	集団と社会の復元 ②武力抗争につ	いての議論(1970-198	0年代
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える		60分
	第9回	授業の計画・内容	集団と社会の復元 ③青銅製祭器に代)	こついての議論 (1970-1	980年
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える		60分

第 10 回								
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分					
第 11 回	授業の計画・内容	階層化の議論①墓制の発展についての議論(1)(1970年代)						
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分					
第 12 回	授業の計画・内容	階層化の議論②墓制の発展についての議論(2)(1980年代	<b>(</b> 5)					
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分					
第 13 回	授業の計画・内容	階層化の議論③墓制の発展についての議論(3) (1990年代〜2000 年代)						
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分					
第 14 回	授業の計画・内容	階層化の議論①~③のまとめとディスカッション						
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分					
第 15 回	授業の計画・内容	弥生社会の変化についての議論①年代論(1)(1990年代ま	(で)					
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分					
第 16 回	授業の計画・内容	弥生社会の変化についての議論②年代論(2)(2000年代以	,降)					
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分					
第 17 回	授業の計画・内容	弥生社会の変化についての議論③古墳出現のプロセス(1 年代まで)	) (1990					
準備学習 (予習・復習等)		参考文献を読み、設問に答える	60分					
第 18 回	授業の計画・内容	弥生社会の変化についての議論④古墳出現のプロセス(2 年代まで)	) (1990					
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分					
第 19 回	授業の計画・内容	弥生社会の変化についての議論①~④のまとめとディス ョン	カッシ					
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分					
第 20 回	授業の計画・内容	第1-19回のまとめと総合ディスカッション						
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分					
第 21 回	授業の計画・内容	弥生時代研究と歴史理論① 社会進化論・史的唯物論・国 論	]家形成					
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分					
第 22 回	授業の計画・内容	弥生時代研究と歴史理論② プロセス考古学と社会発展論	Ĥ					
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分					
第 23 回	授業の計画・内容	弥生時代研究と歴史理論③ ポスト・プロセス考古学とそ	の影響					
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分					
第 24 回	授業の計画・内容	弥生時代研究と歴史理論①~③のまとめとディスカッシ	ョン					
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分					
第 25 回	授業の計画・内容	弥生時代研究の新視角① 認知考古学(1)						
	準備学習	参考文献を読み、設問に答える	60分					

		(予習・復習等)					
	第 26 回	授業の計画・内容	容 弥生時代研究の新視角② 認知考古学(2)				
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分			
	第 27 回	授業の計画・内容	弥生時代研究の新視角③ 高精度古気候復元				
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分			
	第 28 回	授業の計画・内容	弥生時代研究の新視角④ グローバル・ヒストリー				
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分			
	第 29 回	授業の計画・内容	弥生時代研究の新視角①~④のまとめとディスカッション	/			
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分			
	第 30 回	授業の計画・内容	第20-29回のまとめと総合ディスカッション				
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分			
履修上の留意点等	質問用紙や	·ディスカッショ:	ンを通じた積極的な参加を期待します。				
成績評価の方法	20 %	試験					
	20 %	レポート					
		小テスト					
	40 %	平常点					
	20 %	質問用紙による意	見の往復				
Math (= )							
教科書/テキスト	授業で配布	するプリントを教	材として用います。				
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	授業の進行に応じ、毎回の授業で紹介します。						
学生による授業アンケート結 果等による授業内容・方法の改 善について	授業の全体進行に遅滞が生じないよう、講義内容の効率的整理を行った。						
関連リンク	特になし						
実務経験がある教員による授 業科目	特になし。						
アクティブラーニング型の授 業科目							

授業コー ド	12014	50	科目	コード	1211011	725	開講年度	2020	)	単	位	2.0
開設学科		生活文化	∠研究専〕	攻								
代表科目	名	考古学研究 I D 古墳時代文化研究										
代表科目:	名英	Study on Archaeology I D										
科目名1		考古学研	号古学研究 I D 古墳時代文化研究									
科目名1英	訳	Study on	Study on Archaeology I D									
科目名2												
科目名2英	訳											
担当者		小泉 玲	子									
一般教養に	<b>ナンス</b> 併	学到学					になる他学科	公学				
生(所属)	よるほ	3 <del>5145</del>				取 致 生 (学年		45				
工 (77//四)						<u> </u>						
授業概要												かいての知識を増 か特色を考える。
授業到達	目標				する上で娘	必要な基本	本的知識の修	得と、	研究状況・	方法論	を学び	、調査・研究方
及びテーマ		法を身に		>	(-) =			( - )				
キーワー	ド	(1) 古	墳		(2)豸	<sup>葬送祭祀</sup>		(3)	1 埴輪祭祀			
内容 (学学 学習の内容 む)	準備	· [( [( [( [( [( [( [( [( [( [( [( [( [(	シ墳古髯前髯古髯古貴土髯前髯埴髯前鬒須髯前鬒鏡鬒装遺訪とラ時墳の回の墳の墳の師の画の輪の回め思の画のに科身見問めば代定見講見が見埋別に見講見に見講見に見講見し見に学のの見りとは見ば見いまして、「大きな	くに義方に方表方葬方つ方の方い方の方つ方の方つお遺をつ義と「と表と葬といとのといと内といと内と調といよ跡確い証研与研説研説研い研容研訓研容研へ研容研へ研な研が研究研訓研を研が研究研判の研究研究研究研究研	究を究を究るので、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これ	からからでは、	図する(90分 丘と外表施設 車施設 1) 2)					
評価基準 価の方法	と評				講態度・担			 /ポー	<u></u> ト点70%。こ	の割合	を基準	きとして総合的に
屋へソソノ江		日直るの	70 JAELLIE	予防19	コハノい							
教科書1		特になし	,						ISE	BN1		

教科書3	特になし	ISBN3	
授業資料	適宜配布する		
参考書	土生田純之編集2014『古墳の見方』ニューサイエンス社 三木 弘 2011 『古墳社会と地域経営』学生社 広瀬和雄 2007 『古墳時代政治構造の研究』塙書房 坂 靖 2009 『古墳時代の遺跡学』雄山閣 広瀬和雄・池上悟編 2007『武蔵と相模の古墳』季刊考古学別冊1	15 雄山閣	
担当者連絡先	常勤教員 火・水・木・金 歴史文化学科教授室(B7.5階)、研究オフィスアワー:前期 水曜日11:00~12:00、後期 木曜日9:		
その他(注意 事項等)	教員免許取得のための選択科目 中学社会、高校地理歴史 教科に関する科目 担当形態:単独		
事務使用欄			

									202	20/08/21(金)12:27
授業コー ド	22017	20	科目コード	121201 <sup>-</sup>	1723	開講年度	2020	į	単位	2.0
開設学科	1	生活文化	研究専攻							
代表科目	名	考古学研	究ID 古墳時(	代文化研	究					
代表科目 訳	l名英 、	Study on	Archaeology	I D						
科目名1		考古学研	究ID 古墳時	弋文化研	充					
科目名15	英訳	Study on	Archaeology	I D						
科目名2 科目名2克	英訳									
担当者	1	小泉 玲	 子							
一般教養に 生(所属)	なる他	学科学			一般教養 生(学年	になる他学科 ()	4学			
授業概要						_				Oいての知識を増 D特色を考える。
授業到達 及びテーマ		日本の古法を身に		する上で	必要な基本	おおり	得と、研究	『状況・方法	法論を学び	<b>バ、調査・研究方</b>
キーワー		(1) 古		(2)	葬送祭祀		(3) 埴輔	新祭祀		
内容 学修の内 学習の内 む)	準備	「準2)(()()()()()()()()()()()()()()()()()()	「円筒では、	すてを円べら、そのいでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないないでは、「ないないでは、「ないないでは、「ないないでは、「ないないでは、「ないないでは、「ないないないでは、「ないないないでは、「ないないないでは、「ないないないないでは、「ないないないないないないないないないないないないないないないない。「ないないないない	分)る(90分編が)に論いのでは、では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	上変遷 を	を読む(905 通 (1) 正読む(905 通 (2) 正読む(905 正読む(905 正読む(905 正読む(905)	<ul><li>)</li><li>)</li><li>)</li><li>)</li><li>)</li><li>)</li><li>)</li><li>)</li></ul>		
評価基準 価の方法		点数評価		構態度・	授業参加等	等)30%、レ	ポート点7	0%。この語	割合を基	集として総合的に
教科書1		持になし						ISBN1		
371.101		, , , , , & O						100111	1	

教科書2	特になし	ISBN2	
教科書1	特になし	ISBN1	

教科書3	特になし	ISBN3	
授業資料	適宜配布する		
参考書	土生田純之編集2014『古墳の見方』ニューサイエンス社 三木 弘 2011 『古墳社会と地域経営』学生社 広瀬和雄 2007 『古墳時代政治構造の研究』塙書房 坂 靖 2009 『古墳時代の遺跡学』雄山閣 広瀬和雄・池上悟編 2007『武蔵と相模の古墳』季刊考古学別冊1	15 雄山閣	I
担当者連絡先	常勤教員 火・水・木・金 歴史文化学科教授室 (7号館5階) オフィスアワー:前期・水11:00~12:00、後期・木9:30~10	: 30 研究	室(B7.6T04)
その他(注意 事項等)	教員免許取得のための選択科目 中学社会、高校地理歴史 教科に関する科目 担当形態:単独		
事務使用欄			